京城日報

本紙定價 壹部金參錢 壹ヶ月金七拾五錢 郵券代用一割增
廣告料金 五號一行金五拾錢 別二號活字同上 特別五號活字同上
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

九月二十二日夕刊（朝夕併せて八頁）

政局展開彙報

△後繼內閣陣容整ふ

廿一日正午宮中を退出せる西園寺侯は一旦東京驛ホテルに歸り午後二時四十分自動車を驅りて麻布飯倉片町西園寺八郎氏邸に入り應て隣家なる子爵相良賴紹氏邸を訪へるが八郎氏邸は手狹にして不便なり暫く相良子邸を本據として愈後繼內閣組織の陣容を整へたり（東京特電延著）

△閣員辭表提出

首相の手許迄＝臨時閣議開會＝

寺內首相は二十一日午後一時臨時國民經濟調査會散會後後藤外相以下各大臣を集め臨時閣議を開き首相より午前參內 天皇陛下に拜謁仰付られ病軀重任に堪へざるの故を以て辭表を捧呈したるに 陛下より後繼內閣決定迄從前の如く國務を統轄すべき御諚を賜りたる旨を告げ次いで各大臣は即座に首相の手許に辭表を提出し午後二時十五分散會せり尚有松法制局長官、中村鐵道院總裁兒玉內閣書記長官岡田拓殖局長等も辭表を提出せり（東京特電）

△政友會薩派聯立內閣組織か

＝政局展開經過＝

西園寺侯は愈々後繼內閣を組織する段取となれるが侯が愈々大命を拜し後繼內閣を組織するに際しても果して如何なる成行を呈するや未だ一切の事は外間の窺知を許さざるも寺內首相が愈々辭意を固め之を山縣公に諮るや山縣公も遂に其の已むを得ざるを知り後繼者に就て考慮する所ありたるが時局今日の場合西園寺侯の蹶起を促すの外なしと做し當時既に西園寺侯に事情を訴へ其の蹶起を慫慂する所あり爾來山縣公は小田原園侯は伊香保に靜養中なりしが今回愈々總辭職の時機到來となると共に公侯の御召となれる次第なり、又後繼內閣組織に關しては公侯の間に何等條件の存在せざるは勿論なるが此の間自ら意思の疏通せるありと信ずべき理由あり而して山縣公の昵近者に就き臆測する所に依れば新內閣に關する山縣公の意向は園侯を中心として下院の勢力を包擁する聯立內閣を組織するに在るは明かにして園侯の胸中も自ら之に共鳴するものあるべく即ち園侯は下院の三大黨たる政友會憲政會國民黨の三派を包擁せんことに努むべく先づ原氏に交涉すべきは自明の理にして政友會とは兎角の論無かるべきも憲政國民兩派が如何なる態度に出づべきか全く疑問にして殊に憲政會の態度に至つては最も注目に値すべし而して若し園侯の下院三派綜合にして不成功に終らば今日の處先づ政友會と薩派との聯立內閣を組織するの外無かるべく恐らく後段の實現を見るに非ざるかと政機に關し最も詳通せる某上院議員は語れり（東京特電）

△顏觸果して奈何

急轉直下豫想外の人物の出現を見ん＝園侯餘り他に諮らず

西園寺侯が愈々內閣を組織するとすれば政友會よりは、原敬、山本達雄、元田肇、三氏薩派よりは牧野伸顯男、國民黨よりは犬養毅氏の入閣を見るべく憲政會よりは入閣するや否や疑はしく貴族院よりは何人が入閣するや目下の處不明なり故伊藤公は曾て大命を拜受したる翌日一味を除く外閣員の人々の內諾さへも得ずして內閣を組織したることあり閣員たるべき人々は宮中に召されて始めて互に閣僚の何人なるかを知る位なれば西園寺侯が內閣を組織するに就ても今日迄餘り人に相談せざりしは世人の知る所なり從つて或は急轉直下多く人の與り知らざる豫想外の方面の人物に依り出來上るやも知れず勿論豫想等の餘地一切無かるべし（東京特電）

△大命拜受と兩氏諒解

西園寺侯は二十一日朝寺內首相を訪問の後午前十時頃原政友會總裁を其私邸に訪ひ會談する所ありたるが侯の大命拜受に就ては原總裁との間に十分の諒解あるものと解せられ云々と政友會の某領袖は語れり（東京特電）

◇ブ市市政著手

其筋著電＝ブラゴエ市は我軍並にガモフ枝隊の迅速なる行動に據り獨墺並に過激派勢力より奪還せられたる結果市自治會は直ちに該市に入り市政に著手し秩序の恢復に努め我軍隊並に在留民は之に對し大なる援助を與へつゝあり今や各方面とも日本に對する歡迎の聲高し（東京特電）

◇英兵哈爾賓著

英國兵の一部は裝甲車を携へて此の程哈爾賓に來著したるが佛兵も近く來る可しと（哈爾賓電報）

◇哈市ボルジヤ間旅客列車運轉

鐵道は十八日より哈爾賓ボルジヤ驛間（滿洲里西方第四驛目）普通旅客列車の運轉を開始せるが未だ客車無き爲め旅客は有蓋貨物車に收容せり（東京特電）

◇眞の平和を欲す

米平和强制會大統領を稱讚す

平和强制同盟會幹部委員は墺國の講和提議を拒絕したるウイルソン大統領の決意を賞讚す可しとの決議を可決し大統領が墺國の秘密會議を爲す可しとの勸誘を排したるに對し滿足の意を表したり同決議文の一節左の如し（紐育電報）

我同盟會は永久の平和を爲さんが爲め獨逸の武斷主義を破壞し聯合國の目的を贏ち得べき勝利の平和のみ唯一の平和たる事を聲言す今尚全然敗北せるに非ざる獨逸と會議を開くは之れ吾人の目的の失敗を自白するものなり

◇勅選議員

不日發表

政府は一兩日中に勅選議員七名を奏表する筈なるが右は大體左の如く內定せり（東京特電）

司法大臣松室致▲前鐵道院副總裁長谷川謹介▲警視總監岡田文次▲農商務次官上山滿之進▲警保局長永田秀次郎▲前內務技監沖野忠雄▲前朝鮮總督府鐵道局長官大屋權平

◇經濟調査會 總會

國民經濟調査會第一回總會は二十一日午前十一時より首相官邸に於て開會寺內會長勝田仲小路兩副會長以下各委員幹事五十餘名出席寺內會長より一場の挨拶あり午後一時散會せり（東京特電）

◇參謀次長歷訪

田中參謀次長は二十一日朝兒玉內閣書記官長を訪問し暫時會談の後午前九時十五分辭去し更に同十時三十五分寺內首相を訪問し數刻

◎墺匈國の將來

國家の組織は大體に於て一元的國家と多元的國家の二つに區別されて居る前者は唯一民族より成る國家で日本の如き其適例である後者は人種の違ふ數多民族が夫々主權を有しつゝ合體して一國家を形成するもの例へば獨立當初から十三個の主權國家が集まつて一共和國となつた北米合衆國の如きがそれである多元的國家は一名聯立國家といふ其中には（一）人民が互に寄り集まつたものと（二）一つの國家が大なる力を以て征服に依つて他の異民族を併合したものとがある即ち（二）の例に於ては主たる國家が絕對勢力を有する間は君主政體の狀態を繼續することが出來るが內政外交等の關係で權力の配當上變動の生じた場合には被征服民族が擡頭し夫が聯邦と變るかも知れぬ詰まり北米合衆國の如き各民族に或程度迄の自主權を許して一つの國家聯合を作る場合には取りも直さず夫が聯立國家となるのである即ち國家構成を一言にして掩へば（一）單一な

▲民族か（二）權力に依つて諸民族が統轄されるか（三）或は多民族寄合つて出來たものとの三種であるそこで單一國家となり二元國家ともなり聯邦ともなるのである日本伊太利西班牙の如きは單一國家の好例である今玆に特に研究せんとする墺太利は往昔ハプスブルグなる王朝が卓越せる武力を以て近隣を征服して出來た國家である從つてハプスブルグ家に中にはスラブ、マヂヤール、ルーマニヤ伊太利等雜多異民族が混淆して居た所が十九世紀になり被統治民族中最も

▲有力なる匈牙利のマヂヤール族が蹶起し或る程度迄の自主權を得たいと墺國政府に迫り同時に民族的運動を示威的に起したので墺國でも止む無く千八百六十七年即ち我が慶應三年に該要求を容れ直ちに憲法を發布し從來の一元國家を改めて二元國家即ち墺太利匈牙利二國聯邦として墺太利の獨人の支配する國家とマヂヤール人が主治的民族として立つ匈牙利國との聯合國となつたのである然るに此種民族運動は更に他被治民族にも波及し右二元主義より除外例にされたスラブ人、ガリチヤの

▲波蘭人ボヘミヤのチエック人南方スラブ人塞爾維人ルテニヤ人等陸續として蹶起しマヂヤールと同地位を獲んことを要求し出た早く云へば二元主義の國家を改めて更に多元主義の國家即ち聯立國家にしやうとしたのである、這次世界大戰に臨み「スラブ民族の自治」要求を迫ること益々强く墺國ボヘミヤ內のチエック族が運動の采配を揮り他民族を號令するに至つた獨逸に彼等は西伯利方面に破天荒の大擧を演出して居るに之に對し聯合國は昨年一月米國大統領ウ井ルソン氏への回答中に民族の

▲獨立を認むる條件を戰爭の目的として數へたものも是等諸民族の心事に同情した結果であらう其遺でチエックが西伯利に據る伊國と米國に亡命中の同族と東西相應じて起ち聯合軍も之を交戰國體として認めると云ふ段取となつた斯くて時局の益々進行すると共に獨墺戰況も不利となるならば墺國は對內政策上或は現在の二元主義を改め一著として先づチエックの自主權を認めるやうな時が近き將來に來るかも知れぬ（某氏談）

◎上海傳染病流行地認定撤回

上海港務局に於ては從來香港を以て傳染病流行地と認定し居りしが今回之を撤回し爾今同地より來港する船舶に對し檢疫を廢止する旨九月十一日告示を以て之を公布せり（上海發十六日外務省着＝東京）

◎全鮮商議聯合會

本會議第二日＝續

全鮮商業會議所聯合會第二日午後の會議は二十一日午後二時より開會釘本京城商業會議所會頭議長席に著き午前中決議を見ずして休憩となりたる仁川提案第十一號を附議するに之より先き京城提案にて航路開始の件並に追加議案たる大邱提出長距離電話線增設に關し當局に要望の件に就いて說明を試む電話增設の件に就ては當局に於ても

△著々計畫中にて之れが架設に關しては實際の狀況を調査し緩急宜しきを計らざる可からず本年は電話の故障殊に多く種々なる不便を釀したる事當局に於ても知悉し居れるを以て京城大阪間及び京城東京間に各々更に一線を增設する計畫あり此の二線は是非共本年中に架設工事を完了すべき豫定にて目下遞信大臣に申請中なり尚當局に於ては將來京城下關間にも更に一線を增架する意向あるを以て近き將來は必ず諸君を滿足せしむべき狀態を齎し來るべき事と信ずと述ぶ右畢つて第十一號議案の議事に入り多少の議論ありしが結局

△仁川提出第十二號案をも合併して原案に修正を施さんとする說多數を占め京城側修正案を出すや滿場異議なく之れに賛同し修正案を可決し直ちに當日大邱側提出追加議案を附議す（第十三第十四號議案後廻し）

追加議案第一 電話線增設の件
同 第二 補助貨（一錢、五厘）銅貨移入の件
同 第三 目下架設工事に著手中の東京滿洲間直通電信線使用に關する件

右追加議案は提案者の希望により全部一括して附議する事に決せるが提出の理由第一案に關しては從來京城釜山間に於ける電話線は單線にして時局以來驟々乎として發展せる

△朝鮮現在の狀態よりこれを見るも殆んど其の用をなさず即ち一例を擧ぐれば我大邱より京城或は釜山方面に通話せんとするに少くとも二三時間を要し至急電話を使用するも尚一時間を要するに非ざれば用を辨ずる能はず如斯狀態にては一般商工業上に支障を來すは明かなり依つて復線を架設せられむことを請願す』と言ひ第二案に關しては『補助貨撤底の聲を聞くは決して今日に始まるに非ず即ち一昨年來小額紙幣を發行して稍之れが緩和策を得たるも昨今に至り又復銅貨の大撤底を來し小賣商人の如きは全く商取引上圓滑を缺くに至れる事は今更喋々を要せざる所なり然るに聞く所によれば大藏省に於ても之れが應策として本年度內に於て一錢、五厘の銅貨

△百萬圓を鑄造することに決せりと即ち之が移入を要望し緩和を圖らんとす』と稱し第三號案に就いては『東京經私信電報が大邱の一商店に達せるは實に三日後即ち七十二時間を要せり這は近時局重大の影響を蒙れる一例に過ぎずと雖も亦以て其一斑を窺ふに足る分時を競ふ商工業者に取りて斯の如く緩慢なる電信が果して如何なる影響を齎すかは今更說明の要なかるべし即ち之れが緩和の一助として目下架設工事に著手中の東京滿洲間直通電信線の使用範圍を朝鮮內に及ぼされんことを要望せんとす』と言ふに在り右第一案及び第三案に關しては遞信局島田通信課長より第二案に關して總督府有賀理財課長より夫々懇切なる

△說明あり當局にても充分其必要を認め夫々計畫を立て各位の要望せらるゝ點に向つて之れが實現に努力しつゝあり各位に於ても此點は充分諒とせられ度き旨說明し補助貨移入に關しては既に當局にても大藏大臣に交涉中なりと結ぶ即ち右追加議案に關しては滿場何等の異議の存するなく議會省略を以て原案通り可決直ちに議事を進行す

第十三號議案（仁川提出）朝鮮移出入貨物の包裝改良を獎勵し之が實行を期すること
第十四號（仁川提出）元山經由日本海橫斷航路援助の件並に內地行貨物に對する通し運賃制度の實行方を鐵道局に要望の件

右第十三號議案は既に各會議所に其の

△必要を認め殊に拔荷等の弊に至りては等しく之を認め居れる事とて何等異議なく原案を可決す第十四號案に關しては釜山提出郵船崎事務より一應の答辯ありし事とて差したる議論を見ずして原案可決是れを以て聯合會議案の全部は議了されたるが一同は釜山提案に係る協議事項『全國商業會議所聯合會に每會朝鮮の委員を出席せしむるの件』を可決し釘本議長閉會の辭を述べ時正に午後五時それより一同は總督官邸に於ける招待會に臨めり

◎東拓收米豫想

東洋拓殖會社本年の小作料收納の收納豫想は粗約三十三萬石にして稀有の好況を呈する見込みにて其は植附の普及と天候順調のため前年より約一萬石の增收見込みなりと

△京城附近好作

東拓會社京城出張所長の談によれば同所の所管する京畿道北部並に黃海道南部の稻作は前年旱魃に近き害あり本年は降雨順調殊に黃海道延白方面の作況良好に付前年に比し二割內外の增收となる見込なり

◎北鮮材好望

從來朝鮮內に需要せらるゝ材木は輸送其他買出の關係上主として新義州及び安東方面殊に營林廠に其過半を仰ぎつゝあるが近來諸種事業の勃興に伴ない土木建築業は多忙を極め略制限ある同地方の材木のみにては益々不足を告ぐるに至り材木の供給地を自然他に索むるの必要に迫られ居るを以て建築請負業者及び材料商人等は目下該地方以外に其の供給地を得ん事に努めつゝあり而して其の第二供給地としては先づ

△琿春間島附近を控へたる北鮮地方の材木最も有望にして最近同地方に於ては盛んに材木の買出商人活動中なりと然れども這は皆內地移出を主とするものにして纏りたる大口のものなるが鮮內需要材料としても亦同地に供給を仰ぐべきものにて將來唯一の材木供給地として目せらるゝに至るべしと只だ

△現在の狀態に於て最も不便なるは運搬にて雄基及び淸津に集注せる材木を元山に積み出すに際し船舶撤底にて殊に材木積の船は特種のものを要するが故に朝鮮郵船會社等に於ても四隻を買入れ特種の運搬をなさゞるを以て鮮內需要材木の撤底なる今日に際しては到底滿足を見る能はず故に或る者は同方面に材木積の船舶を廻航せしめ此の際材木の鮮內需要を充すべき計畫をなしつゝありと

◎松方帝糖社長

帝國製糖株式會社々長松方正熊氏（松方侯令息）及び同專務取締役牧山清砂雨氏は鮮滿視察の爲め一兩日中に入京す可しと

◎多田氏留別宴

別府信託株式會社の多田次平氏は廿一日夜白水に於て留別宴を張りたるが會者七十九名多田氏は會社設立の經過を說きて挨拶を述べ之に對し牧山氏の謝辭あり盛會なりき

人事消息

▲田中、和田、萩野三文學博士 二十一日午後元山へ
▲堤本德二郎氏（鮮銀總裁代理店長） 二十二日朝入京京城ホテルへ
▲岡本仁川商議書記長 廿二日退京
▲中田木浦商議書記長 同上

茶前酒後

◆浦鹽西伯利政府がオムスク政府と提携、行く〳〵は一致合併せんとは西伯利政府の宣言也。然るにオムスク政府の總理、オウロゴドスキーは、這は以ての外也。オムスク政府は、西伯利政府とは、全然無關係なりと聲明し。而してオムスク政府は自己が全露國に於ける、最高權力なりと宣言す。ホルワット政府亦此の間に處して、何等の行動を取るか、一時統一の曙光を見たる西伯利政界も、之より更に多事、混沌を重ねん。聯合各國の態度こそ見物なれ。

◆中部チエックの剛將ガイダの振舞は、依然として剛愎なるが如し。彼は遂に、予は全露國政府軍司令官なりと宣言す。カルムイコフ、セミヨノフ、ガモフ等、眞に其祖國の爲に、萬死を賭して戰ふもの、果してガイダの宣言を承認するや否や。

◆ガイダはオムスク政府の後援によりて、今日の優勢を贏ち得たる者也。彼がチエック軍の一大佐より、少將に進級せしは、即ちオムスク政府の任命にして、チエック軍より云へば彼は依然たる一大佐也。オムスク政府が、全露國最高權力を宣言し、ガイダが全露政府軍總司令官を聲明す。此の間に於ける芝居の筋書は、何人たりとも、察するに難からざる也。然り而してガイダの背後には、某國武官のある事は、記憶せざるべからず。

◆西伯利の形勢は、聯軍の努力、殊に皇軍の奮鬪に依て、過激派及び獨墺俘虜を一掃し、秩序之より恢復せんとするの觀あるも、全露國の形勢は、益々寒心に堪へざるものあり。ブレスト條約の反對者として、同條約打破の爲、聯合軍と提携、對獨戰の續行を主張して已まざりし、立憲民主黨領袖ミリウコフも、北露聯軍の南下捗々しからず、チエック軍の戰勢不振を見て、新露國建設の困難を看取し、遂に業を煮して、獨逸に賴りて其目的を達せんとす。露國內に於ける聯合國の威力にして、今後久しく獨逸勢力に拮抗し能はずんば、或は擧つて獨逸勢力の跳梁する處たらんかも、未だ計られざる也。況んや獨逸が、東部に於て新しき畫策を目論見つゝある今日に於てをや。

船長雇入
丙種運轉士 貳名
丙種運轉士の免許ヲ有シ二級鋼船乘組船長ニ經驗アルモノ給料七拾圓以上ヲ仕給ス赴任旅費雇主ヨリ仕給ス
志望ノ方ハ履歷書ヲ添ヘ申込アリタシ
安東縣四番通り四丁目 大一合商會船舶部

地方人は欺かるる勿れ株を賣買する前必ず我社に問へ
新機軸の株式現物
株式安價買入方法
（我社の心血を灑いで株式現物の賣買を國家的に發展せしむ）
株の現物は時價の三割出金せば買はれ升
（此れが方法は詳しく說明書に有ます）
現株賣買で安全に拾割儲る
（相場は必ず儲かる者選り機で拾割位の利益は何んでも無いのです）
株米賣買指導雜誌 投機（毎月五日廿五日の二回發行九月號已に出來）
東京市日本橋南茅場町四十一 相場雜誌の元祖 投機社 株式現物店（本社附屬）栃木屋
新築移轉と大擴張

營業種目 證券部 信託部 貿易部 鑛山部 調査部
合資會社 末廣商會信託部
電話本局長 三五七三番 三七六九番 三〇六番 一三四五番
振替口座大阪三一九八五番
登錄電信略號 オサカスエヒロ
發信略語 スエヒロ

貴下の遊金を如何に運用すべきか？
富の增進
一生一代に富の程度を增進すると否とはタダ資金運用の巧拙如何によつて決せらる、徒らに資金を死藏して拱手成り行くに放任し置かば終に涯砂々の事も出來ず成効者としての名譽を博するとも難し
貨殖の秘訣
貨殖の秘訣とは如何、年利十割と安全にして確實なる捨たりなき貨殖方法あり、富の增進を圖らんとする者は直に端書にて御申込あれ絕好の資料を贈呈すべし
大阪市東區北濱二丁目七番地

バイト用鋼
工具用鋼
道具用鋼
鑛山用鋼
スプリング用鋼
双物用鋼
糸引鋼
其他ハガネ一式
高速度鋼炭素鋼製造所 株式會社東洋製鋼所
總發賣元 株式會社東洋製鋼商會
大阪市西區立賣堀南通五丁目 電話新町一九八九・一九九九 振替大阪二四五八二
工業生產能率の增減は一に工具の善惡に由る工具の善良を望まれなば其材料たるハガネの選擇に心せられよ弊社は常に品質優良絕對責任を以て御需要に應ず

刮目せよ世界的自動車界に從事し運命を開拓すべき千載一遇の好機到來
本校は最も古き歷史と最も多數の卒業生を出したる經驗を有し且教授上の施設及組織は初學者を愉快に修業せしめ地方在住の校外生と雖內外に活動して莫大の收入と成功とを收めつゝあり
政府の自動車補助金下附は各地に大會社の設立を勃興、公私車數の激增、東京市街公私乘合自動車の擴張等は本校卒業生を迎ふる事切なり又出征者の補充、陸軍の擴張等
依て今回は特に小學卒以上年齡問はず如左募入し此急に應ぜんとす
校外生三百名入學修業隨時 校內生三百名專科二ケ月本科六ケ月卒業 申込至急明細書送與 大阪市岡町に分校あり
東京京橋市區 東京自動車學校 生徒募集

西伯利從軍記

八市占領誌

從軍記者　金谷眞

▽川名騎兵隊の突進
前原歩兵隊と共に武功を立つ

◇亘二十餘里の長途を僅に十日間にて
◇突破し難なく黒龍州の要地を占領した

大井軍長驅疾風迅雷の勢を以て一擧ハバロフスクを占領し敵の黒龍江艦隊の砲艦全部十七隻を捕獲した川名騎兵中隊の赫々たる武功!!!實に勇敢なる日本軍の爲に萬丈の氣を吐くに足るべきであらう、小倉騎兵第十二聯隊第二中隊長川名大尉はわれ〱從軍記者一同と共に八月二十五日浦鹽上陸、二十八日スヰヤギナ驛三十日プロハスコからイマン驛着此處にて

先進の神野小島

兩中隊に合した、聯隊長宮内中佐も亦共に川名中隊と到着したのであつた、八月三十日!此の日は小倉騎兵聯隊にとつて實に記念すべき日であつた、宮内聯隊長は此處に初めて聯隊の主力を集め營き第十二聯隊の軍旗を捧げて此處に崇敬なる軍旗捧持式を擧行した、おゝ!!!機部中尉の手に捧げたる

軍旗の光りよ!!!

沿海州の朝風に飜へる日章旗の光りよ、諸顔に敵たる聯隊長の眼光にも侍劍を翳せる兵士の面色にも共に西伯利の敵を一蹴せんず決意が見われた、折からイマンの露人等は共に此の壯嚴なる日本騎兵の軍容を見た、イマンは豫てより烏蘇里哥薩克の根據地である、敬愛すべき日本騎兵よご可愛らしき

西伯利亞の野花

を投る人々には花恥かしき娘もあつた、哥薩克の統領カルムイコフも其の部下と共に此處にて完全に宮内聯隊に合した、此日川名雷大尉は聯隊長より特別任務をうけて大尉は前原少佐の率ふる歩兵一箇大隊と共にカルムイコフの哥薩克隊と共に軍の先遣隊なる任務をうけた、先頭に勇む川名中尉はウスリー河の河風に

駒の鬣を打ち靡

びかせつゝ今日既にグベローを占領した、夜も晝も進みあらゆる困苦を冒しつゝ前進を繼續するうち處々鐵道沿線の小鐵橋は敵の手に爆破されて居る、ビギンに間近くなつた時川名中隊長は突嗟一箇小隊の部下をビギン河畔に突進せしめた、敵をして鐵橋破壞の暇なからしめんとするのである、一箇小隊の騎兵は

鐵蹄に火花を散

しつゝ宙を飛んで河畔に着いた、此の一瞬時敵は將に爆破を企てんとしつゝある、突嗟馬を躍らして鐵橋の安全を圖つたのは驚嘆すべき早業であつた、ゆき行いて九月四日の晩方ともなつた、わが川名中隊はウイヤゼームスカヤに間近く進むと驛の附近には多數の敵が抵抗した、難なくそれを突破してウイヤゼームスカヤの驛に入れば構内には

巨きな機關庫が

あつて附近に汽罐車十七、客貨車百九十一輛を遺棄してあつた、傍を見ればまた小銃、彈藥の山を爲し共に中隊の手に捕獲したのであつた、これまでの川名中隊の勞苦と共に前原歩兵大隊の辛苦も亦非常なものであつた、川名大尉は歩兵の支援隊と共に捕獲したる貨車に打ち乗り猶も敵を追うて突進して途中處々の小鐵橋には

爆破を企て居る

敵があつたがこれ等は何れも殪されて了つた、馬を積んで汽車に乗つたわが川名中隊はハバロフスカル間近く進むと途中クラスノヤレーチカ附近で前面から南下して來る敵の一列車に出逢つた、中を見ると朝鮮人、支那人が鮓詰となりまた獨逸兵二名と過激派兵三十五名が爆彈を携へて乘つて居る、直ちに引つ捕へて見ると彼等はホール河の鐵橋破壞に赴く途中で

日本軍が斯くま

で早く來ようとは意外であつたと驚嘆して居たのも御愛嬌であつた四日の午後一時わが川名中隊の行手に遠くハバロフスクの街が見ね出した、馬上小手をかざせばお寺さへ見ねる、中隊は早や既にハバロフスクの南方一里の地點に到着したのであつた、八市は八月廿四日クラエフスキーに取れたる敵の據る處、彼に充分の備へありとは云へ何程の兵力あるか更に不明であつた、此處に於て川名大尉は

雷中隊長の特色

を發揮しよし!!敵中に突進して我威力搜索を試みんとまだ暮方のハバロフスク市停車場より馬を躍らして市街に乘り入ればこれに續いたわが二十六騎の騎兵が進んだ、折から市街には武裝した過激派約十餘名があつて砲火を交へたが何れもわが中隊に鏖にされた、此の結果八市の防備は意外に薄弱して過激派は約百數十名ごこれに屬する勞働者のみの

防衛せるを知り

戰鬪を一時中止して夜の暗を引あげ而して更に搜索を續行した、明くれば九月五日の午前四時三十分わが雷中隊長麾下の勇士は轡をならべて八市に入つた、前夜の敵は影を止めず市街に入ば在留邦人及び市民歡呼の聲が天地を震撼し同五時三十分全く全市を占領した思へば八月廿八日以來

百廿餘里の長途

を僅に十日間に突破し難なく八市をわが手に納めた川名騎兵中隊と前原歩兵大隊の武功!!!共に戰史をかざるべきものであらう

▽宮内聯隊の入城式
聯隊長は娘や子供の投げかくる花束で全身ご馬を飾つた

□……市民はウラーウラーの歡呼の聲を上げて迎ふ

ハバロフスク市の兵營に小倉騎兵第十二聯隊長の宮内中佐を訪へば門司から○○丸船中でお馴染の中佐はヤアよく來たごばかり髯顔の裡から白い齒を出してニコ〱するハバロフスク占領のお祝ひを述べるご(イヤア莫迦許り)謙遜して笑ふばかり『川名雷中隊は痛快にやつつけましたナア』こいへば『それよりもまだ

巨きな鯨を捕り

ましたよ』ご唯一語、鯨は蓋し黒龍江艦隊十七隻を意味するもので本來寡言な此の人がこんな事を云ふさはよく〱喜ばしかつたご見ゆる、何れにしてもわが小倉騎兵聯隊の突進ぶりは實に痛快を通り越した痛快である『宮内聯隊長殿は日露の時永沼挺進隊で四平街附近の敵の背後に出で其處で鐵道破壞をやつた人でふだんからそんな演習をよくやらせたものでしたが』ご他の

將校も大ニコ〱

そこで先づ九月五日のハバロフスク入城式いや入市式(?)の痛快な光景を記さねばならぬ、五日午後四時わが宮内聯隊の主力は全部ハバロフスク停車場に下車した、驛前で一同整揃をしてハバロフスクの電車通りの街路を進んだその光景、小高きハバロフスク公園まで痛々として示威行軍を試みたその有樣!!!

讀者は唯だ想像

して頂くより他に仕方がない、先頭に捧げたる名譽なる聯隊旗、馬上に輝ける兵士の劍光!!!わが軍の意氣既に黒龍江を呑むの概であつた、ハバロフスクの市民は此の堂々たる軍隊に對し何れも『ウラーウラー!!!』ご歡呼の聲をあげた!!!美しき娘も子供も色こり〲の野花を摘んで光榮ある日本軍の前に投げかけた、兵士の中には感極まつて

ポロ〱嬉し涙

を零す者さへある、わけて宮内聯隊長は胸からポケットから背から腹から、ズボンから花でかざられ果ては馬の面から尻尾にまで花を飾られた、花聯隊長!!!男は一生に一度でよいから勝ち誇つたる入城式の指揮官となりたい、兵士となりたい、公園についた、公園は小高き丘の見晴しよき處、脚下には

汪洋たる黒龍江

の流れと烏蘇利川の水が相合して遠く黒龍州の平野と支那吉林省の野が海の如く展けてゐる、わが軍は公園に立つたムラヴ井ヨーフアムールスキーの銅像の前に整列した、ムラヴ井ヨーフは露國の極東經營に特筆大書すべき人、言ふまでもなく黒龍、烏蘇里の哥薩克屯田兵を設けたのは此の偉人の功に負ふ所が少くない

アムールスキー

は公園の歡呼の聲に『ウラー!!!』を合唱したであらうか、銅像の偉人は遙に眦を決して南方沿海州の空を睥睨してゐる、而も無言のまゝに立つてゐる、公園で此の示威行軍が行はれてゐる時に脚下の黒龍江には敵の砲艦が儼こして檣へてゐる、而も艦上の砲身は陽に輝いて遙にわが分列式を眺めてゐる

見て居ても一向

『癪つだらうか、撃てば面白いが……』ご語りながらズトンこもやらぬらしい、此の時前原少佐の歩兵隊は八市全部の警戒に任じた、就中兵營、停車場、郵便電信局、火藥庫等を守備してゐた、わが歩兵隊は公園から再び兵營に歸つた、五日の夜は敵の夜襲に備へたが何等の騷ぎもなかつた、此の夜敵は砲兵工廠にもゐた、猶ほ停車場から三里の海軍根據地には敵の黒龍江艦隊全部

十七隻の砲艦も

ゐる、此時小倉歩兵第十四聯隊の前原大隊ご川名中隊は敵の砲兵廠を包圍して銃火を交へ遂に大砲百二十門を捕獲した、其の他有刺鐵條網を始め多數の兵器材料を鹵獲した、一方停車場では汽罐車十九客貨車二百七十三輛、貨車列車十二を捕つた。

▽海軍根據地乘取
忽ち捕獲せる十七隻の砲艦と大小無數の船舶の上に日章旗輝く

明くる七日は宮内騎兵聯隊の黒龍江艦隊根據地占領の一條となる、七日午前二時騎兵第十二聯隊は前原少佐の率ゆる歩兵二個中隊と共に停車場から下流約三里程の根據地に向つた、わが軍は豫め敵の退路にありたる一條の通路に而して機關銃を据ゑつけ一朝敵の逃ぐるを見れば一擧にしてこれを殲射すべく用意した、時刻はやがて拂曉となつた、わが騎兵聯隊の副官河村清彦大尉は

單身通譯一名を

伴なうて軍使となり敵の根據地に乘りこんで砲艦及び根據地全部の引渡しを要求した、聯隊副官の交渉中海軍々人中の獨墺俘虜將校は異議を唱へ議論百出卻々容易にまこまり相にもない、其處で宮内聯隊長は大いにもどかしがりこれも單身前原少佐と共に敵中に入つて交渉した、此の時聯隊長は先づ艦長全部を一室に招いた、艦長等の一室内に入るや否や

咄嗟銃劍を閃し

たる我兵はバタ〱ご此の建物を包圍して『グズ〱云へば刺し殺すぞ』ごピカ〱する奴を突きつけた、茲に於て要求は總て命令ごなり敵の黒龍江艦隊は總て我軍の手に占領され了つた、ハバロフスク海軍根據地には今日章旗が飜飜なごこして飜つてゐる、廣き黒龍江上に浮かんだ十七隻の砲艦の上にも大小無數の捕獲船舶の上にも何れも日章旗が輝いてゐる

砲艦の過激派兵

は『日本人ならば喜んで投降する』而しカルムイコフの克薩克には斷じて下らぬ』ご豪語してゐる、されご彼等も日本軍から月給を貰ふことによつて生活の安全を保たれたことを喜こんでゐるらしい、江上に虹の如く架つたアレキセーフ鐵橋の日の丸の旗!あゝいゝ!!!ハバロフスクはわが軍の手に占領されて了つた(九月七日)

◎露都虐殺を續く
今日迄二千名に及ぶ

ペトログラードよりの報道に據れば中立國の外交團及び獨墺代表者の強硬なる抗議ありたるに拘らず虐殺は依然繼續しペトログラードの居住民にして今日迄に殺害せられたる者二千名に及べり(巴里電報)

◎第○○團○○部北進
大庭師團長は古式の觴を擧げて

長春滯在中なりし第○○團○○部大庭師團長以下の○○は○○日午後一時長春驛連絡ホームより乘車北行せり支那側より鮑守使、道尹及び我重なる官民、學生其他多數の見送りあり大庭師團長は構内食堂に重なる官民を集め出征に際する古式の觴を擧げ盛んなる萬歲聲裡に出發せり(長春特電)

◎京城神社の大祭
例年の通十月の好時節…十六日より十八日迄三日間に決定

京城府民の年中行事の一なる京城神社例大祭の期日も間近こなりたるため神社の相談役大總代各町氏子總代等の内鮮人を通じて百餘名去る廿日京城ホテルに協議會を開き峯尾宮司幹事長議長席につき協議の結果左の通り決議したり因に本年度大祭は第一區氏子區域の當番にて永樂町大通より旦東新町方面なり

△大祭委員として相談役、大總代、氏子總代及び各町評議委員の外前例に依り左の諸氏に依囑する事 京城府協議會員、京城學校組合議員及び同評議員、京城府內各町總代、京城商業會議所會員、評議員

祭典日取は例年の通十月十六日前夜祭十七日大祭式及び御渡幸十八日御遷幸

△大祭の事務は本年度の當番第一區に於て各委員分擔奉仕の事
△祭典式次第行列順序等は前年通の事
△神幸御道筋に關しては大總代會に一任する事
△神幸供奉は前年の例に依り各町內有志に受持區域を定むる事
△神幸の供奉は神幸行列を嚴々しからしむべき爲各町總代及び評議員に於て
△各町總代及び評議員の辨當は例年の如き物技給を止め現金を交附すること
△前年來各町に於て調製せられたる神輿の如き年の通り賑々しく行列に加はらしむるは勿論なれども本年度は其前夜祭の晩各町は夜祭當夜萬燈を點じて神輿を飾へられたき事
△神幸御道筋各町有志よりの接待は前年の例により其町內へ御依賴すること
△各町の餘興等は可成賑々しく擧行せられて京城大祭の景氣を添へられたきこと
△氏子崇敬者各家庭に於ては祭當日は可成小豆飯、甘酒を以て各家庭に於て內地に於ける氏神祭同樣の雰圍氣をなさしむべく各町總代、評議員諸君に於て可成勸誘せられたきこと

◎昔の日本と今の朝鮮
興味多き萩野文學博士の講演
『國史より觀たる朝鮮』(二)

日本に限らず何れの國に於ても社會は年を經るに伴れて複雜に趨くに從つて史料は益々殖ゑる、併し古い史料はだん〱先で稀薄になるから、今日

◇一千年以前のことを研究しようごして人昔いた物なごは勿論遺物ごても甚だ少い、故に日本歷史に於ても奈良朝平安朝時分から今日迄殘つて居るものは幾何も無い。記錄ご云つても斷片零墨で一向精しい消息が語つて居ない。甚だ遺憾である。所が朝鮮に於ては夫れ等の史料が現在生きて居るので吾々が旅行して見ても殆んご平安朝時代の

◇繪卷物の中を自ら步いて居る樣である。衣食住の些細なことに就て見ても昔(以後昔こ云ふは奈良朝平安朝時代を指す)は日本の男女共衣服は腰より上のものご下のものご二つになつて居て今日の如き著流しでは無かつた貴い人になるご袴を幾枚も重ねてはいた。古事記にも袴を多くはく程貴い人の證據だご云ふことが書いてある

◇今日日本では僅に神官服能衣裳なごの上に殘つて居るに過ぎない。著物も埴輪なご掘り出して見るご胸で合せて紐で結んである。朝鮮にはそれがちやんご殘つて居る。婦人が外へ出る時に被衣ご云ふものを頭から被つた是は江戶時代迄行はれて隨分永い生命を保つたが今日内地では田舍の婚禮葬式等に稀に見るのみであるのに此方には

◇澤山…はれて居る又男子の冠り物、昔は如何なる賤しい身分の者でも外へ出る時は冠物を冠つて居た。家の內に在つても人に會ふ時頭を露はすご云ふことは非禮こしてあつた。天皇は御寢みの場合にも冠つた儘御寢になつた、何故かご云へば御枕もごに三種の神器の中の神璽ご寶劍こが安置されてあるからであつた

◇足利時代の職人盡しの歌合せご云ふものを見るご田を耕す農夫であらうが鍛冶屋であらうが皆んな烏帽子を冠つて居る是亦此方に來て成程ご合點が參つた譯である。又饗應ご云つて天皇の御前で御陪食を賜る時、或は大饗ご云つて臣下こして最も榮譽ある饗應の場合の細かも殘つてゐるが昔はお膳は必ず橫長な四角なものであつた。副食物は

◇上等になれば十二種もあり、中等位で九種、八種あり此處に果物此方に何こ云ふ工合にちやんご定められてゐた、然して是を食るには昔は必ず箸ご匙こを用ひたもので、今日匙を使つて食ふご云へば西洋風の影響の如くに思はれるが決してさう許りでない殊に面白いのは飯を金屬製の大きな椀に高盛に盛つて食ふ、一杯限りで盛替はしない

◇此の飯を椀に上手に盛るこ云ふことは主婦の一つの技術であつたご云ふのである。自分が曾てある書物を讀んだ中に三條中納言こ云ふ人が太變に大食家で飯を三杯喰つたこ云ふことを書いてあつた三杯喰つて大飯喰こは何うも不思議だ吾々ですら一日に三度が三度ながら三杯づゝ喰つて居るではないかこ思つてよく腑に落ちなかつた、所が

◇朝鮮料理を盛べて見ると食器の配列や箸ご匙こを用ひる點から金銅の大きな椀に盛る所まで殆んご其樣式が變つて居ない成る程ご背かれたのである。日本歷史の史料に就て內地で彼是詮索するより一度朝鮮へ來て見た方が餘程近道ではないかこ感じた。

◎帆汽船の衝突
◇釜山港外五ケ島沖

…港し釜山に向ひたるが過般の風雨の爲め一旦佐須原へ寄港し本月十…佐須原より便乘せる鮮人一名…船員四名は同汽船に救助された

…發生し猖獗を極め二日未明までに五十八人に達し全村民恐慌を惹起しこ(間島)

毎週ポンチ
—群雀— 助太郎

△早稲の穂も大分熟しかけた爽かな風は田の面をなめて金色の波をうたせる郊外に住まつてゐる凸坊宅の附近は見渡すかぎり早稲田で熟しかけた穂はいづれも首を傾けかけた

中々穏かない △怒り凸助に徹した凸君今度は空氣銃を取り出して群がる雀を目がけて狙げさまに射つけれご敵は大勢二三羽射落された位では平氣の平左稻を荒らすチュ〱雀は自分達の秋だご云はぬ許りに彼方に飛び此方に止まり自由の身を誇り顏に穂を啄んでゐる、これを見た凸君大いに憤慨して案山子を拵へて…奴さんそんなでは…樂しさうに鳴いてゐる

△凸君痛く腹を立て今度は銃丸に穴をあけて糸を通し…目がけて一發バチリ勢よく飛んだ銃丸は雀の股から腹へご通しながらの珠すつなぎ…大得意

◎小園來る 浪界の泰斗京山小園一座は好浪家の招きに應じて近々當地へ乘り込み市內黃金館に於て花々敷開演の筈

◎第二回入選者發表
サッポロビール廣告圖案

京城大和町サッポロビール廣告出張所にて募集中なりしサッポロビール廣告圖案第二回懸賞募集は二十日を以て締切り二十一日午後吉田所長以下各審査委員の手にて嚴重審査の結果應募總數六百餘點の內より左記入選者を決定したるが應募作品は前回に比し何れも佳作多きため募集者たる吉田氏の發意にて特に入賞者を增すこととせるなりごして賞品は同社より兩日中に發送する筈なりこいふ

▲一等(金二十圓サッポロビール一打)京城櫻井町二丁目一九六秋子時雄 ▲二等(金十五圓同上)同黃金町三丁目二五九山本利孝 ▲三等(金十圓同上)同大島町一四藤野秀雄 ▲四等(金五圓同上)同初音町一八八森隆介 ▲五等(金五圓同上)同錦町二〇一長洲忠之 ▲六等以下…同太平町二丁目… ▲七等同本町三丁目三〇馬場一郎 ▲八等同本町二丁目…小田篤一郎 ▲九等黃海道海州仲町… ▲十一等以下ツボロビール一打宛…

演藝案内

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 九月二十二日開演 京阪落語若手大一座
▲落語、手踊 三遊亭 ▲落語、指の活動 笑福亭 ▲奇術、浪花節 三遊亭 ▲落語 ジャグラ ▲落語、音曲、手踊 笑福亭 ▲落語 桂 ▲奇術 ジャグラ ▲落語、音曲 三遊亭 ▲落語、手踊 桂 ▲落語 二遊亭 ▲大切喜劇

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る二十二日より大寫眞提供 ●實寫大海の波 ●笑劇凸坊帖
◎新派大悲劇『春の雲』全三卷
◎大活劇『秘密の王國』
◎舊劇『竹內加賀之助』

壽座 本町三丁目 電話五七八番
▲當九月二十三日十七日目 喜劇連鎖義士酒家女優團
第一 喜劇猫り貝 第二 連鎖劇別府撮影別府敦 第三 新劇彥山權現六助住家の段 第四 喜劇俄華族

有樂館 東京小林商會直營 ユニアサル一手特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(齊一)五〇七番
當る九月廿日より公開プログラム ユ社△實寫スクリン、マカジン ユ社▲喜劇誰の兒 ▲活劇金鑛 米國ユ社◎人情劇雨こ涙 全二卷 ▲喜劇袋叩き 全一卷 ▲灰色幽靈 全二編

黃金館 日本活動寫眞株式會社特約 電話二一六六番 夜間二二六七番
甲賀三郎 全七卷 活殺 全三卷 爆彈ピアノ 全三卷 びつくり袋 全四場 九月二十四日は祭日晝夜開演

寫眞製版 亞鉛版 寫眞銅版 出張撮影 京日寫眞製版部

父武次郎葬送の際は遠路態々御會葬被成下難有奉深謝候乍略儀此段以紙上厚く御禮申上候 大正七年九月 男 鳥飼善二

姪民子儀永々病氣の處養生不相叶廿二日午前十時半死去仕候間此段謹告致候也 追而葬儀は明廿四日正午十二時自宅出棺日正町曹洞宗別院にて執行可仕候 大正七年九月二十二日 京城明治町 唐川立造 親戚總代 石橋久太郎 廣江澤次郎 友人總代 小林藤右衛門 清水繁太郎

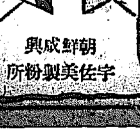
片栗 朝鮮成興 宇佐美製粉所

花柳病外科專門 ●梅毒●痳病●泌尿生殖器病●睾丸病●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱ヒステリー 606 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

安全ランプ 特色火災安全石油經濟電氣代用 登錄商標 代送料共金二圓七十錢 東京市下谷區仲御徒町三丁目 製造所 安全洋燈工業所 特約店募集 振替東京四二八二六番

栗羊羹 新栗製 京城本町 電話二十七番 四七五

一番よくきく マラリア特効丸 龍山林藥房製劑の 定價表 四粒入金三十錢 二十五粒入金五十錢 ニセモノあり御注意 龍山元町二丁目 本舖 林藥房 代理店 京城本町 合資會社天佑堂 釜山辨天町 岸南海堂 平壤大和町 森田草樂堂支店



[illegible]其の他[illegible]約一千五百噸級の[illegible]船富士丸と衝突しアヴァミデ[illegible]面[illegible]に沈没したり[illegible]を遡航して八月五日三田尻を出[illegible]もなく約二分間にして沈没したり[illegible]月一日午後三時頃より間島和龍[illegible]懷慶街にて嘔吐下痢の傳染病[illegible]ること甚く醫所も金果と稱する[illegible]法醫一名にて一時は人心恟々たり[illegible]

[illegible]入場[illegible]日午後[illegible]一等（四名）三島太郎外[illegible]二等四十二名[illegible]竹田[illegible]竹内敬子[illegible]三等（二百六十三名）[illegible]

◎青島と製鹽

仁川專賣局出張所調査

◇◇鹽制　支那に於ては歷朝皆鹽を以て國家歲入の一大財源となし從つて鹽制の變改一再にして止らず而も政府が之れを專賣とし歲入の重要部分となしたるは歷代略一致する所にして遠く齊（山東省）の管仲は海玉の國謹むで鹽策を正しくせば國用饒足すべしとの方策を建て海水よりの採鹽を極力奬勵し以て貢租に充てたり齊國が富國强兵一時

◇◇春秋　列國の覇たりし因は鹽に管仲の奬勵せし鹽業の賜と云ふべく後世鹽利を言ふもの實に玆に始まれりと云ふ膠州灣に於る天日製鹽の創始は光緒廿六年（明治三十三年）即ち獨逸租借後三年に在り政廳が何等奬勵的施設を爲さゞりしに拘らず短時日の間に異數の發展を爲せる所以のものは畢竟空氣乾燥し雨量少く土壤一帶粘土にして涸水する事なく

◇◇鹽水　の導入容易にして築堤に多額の費用を要せず加之勞銀低廉なる等天日製鹽に最も必要なる條件を完備し實に天與の好鹽場たるに據る現下山東省に於ける鹽制は之を官運官銷、官運民銷、民運民銷の三部に區分せられ官運官銷官運民銷に屬する鹽を官鹽と稱し民運民銷の鹽を民鹽又は私鹽と稱す官鹽の生產地は十八塲にして其內三塲は官運官銷の制にして支那政府に於ける全部の

◇◇產鹽　を納收賠償し之を政府に於て運送販賣す其他の十五塲は官鹽民銷地にして政府より特許を得たる鹽商政府規定の鹽稅を納付し各自の特許區域に運搬販銷す而して其の特許區域を引地と稱す山東鹽の行銷地は山東全省（民鹽地を除く）河南の歸德府江蘇の徐州安徽の宿州府なりと雖も近時湖北湖南淮南淮北及び揚子江沿岸地にも及べり山東鹽は支那鹽中最廉且有利なるものと稱せられ其の將來輸出は近年益々盛んにして

◇◇遼東　より朝鮮に及び更に遠く沿海州に迄行はるゝと云ふ山東省民鹽制の地方は登州萊州膠州諸城安邱等の十八縣にして是等の地方は元官鹽なりしも雍正年間大凶作に遭遇し人民の苦痛を救濟せんが爲め一時鹽の自由販賣を許し免稅したるが慣例となり其後山東總督府は財源を鹽に求めんと欲し官鹽復歸を企てたるも人民の反抗を誘起し其志しを遂ぐるに至らず加之民國三年（大正三年）大總統令は是等の地方を地丁銀內に包含し僅に鹽田地租を課する事となれるを以て支那鹽制

◇◇改革　ありたる後も尙ほ民鹽制を認め之を官鹽制の圈外に置けるなり膠州灣內の鹽田は獨逸租借後の開設に係はるを以て何等支那の鹽制上の支配を受くる事なく獨逸も亦何等の制度を設けず開田は勿論製鹽の販銷は人民の自由に任せたりしが年を逐ふ益々概むるに至りしを以て租借後十五年即ち千九百十年（明治四十四年）遂に鹽制を定め製鹽權を膠州灣總督府に收め鹽田及び輸出鹽に課稅せり

◎江畔の偉觀

朝鮮製紙會社

◆本年　鴨綠江の解氷期を俟ち新義州に於て工事に着手したる朝鮮製紙株式會社の建設工事は其の後豫定の如く着々進捗しつゝあるが土木工事の部に於ては工塲敷地二千一萬餘坪を包容する延長一千六百間の防水堤は略完成し又上流より流下し來る原料材を貯藏すべき木材引込濠は近々竣成すべし目下鐵道引込線及び水道工事等起工中にて是又順調の進捗しあり

◆建築　部に於ては既に工事動力、發電室及び鐵工室、鋸工室等の運轉を行ひ汽機汽罐室、調木釜、製藥、パルプビンスクリーン抄造の各室等重要建物の棟礎に着手し工程の進捗に伴ひ日增しに外觀の美を添へつゝあり、又高さ百七十一呎頂上內徑八呎八吋のウェバー式鐵骨コンクリート製の大煙筒は巍然として天を壓し既に建築を終り鴨綠江畔長虹の如き鐵橋と相俟ちて鮮滿國境の一異彩たらんとしつゝあり

◆會社　營業主任北村氏の語る處によれば土木工事の殘部として鐵道引込線は最近請負に附したるを以て既に起工し遲くも年內には完成を告げ幹線との連絡を見るに至るべく水道工事も是と前後して着手したる由なれば本年結氷期までには大部分を完成し來年の解氷期と同時に迎水を見るの運びに到るべく建築の部に於ける主要建物、倉庫、事務所、職員職工社宅等の大部分は年內に竣工せしむべき見込を以て工事を急ぎつゝあり

◆內地　に於て製作を急ぎたる各種機械は最近着々到着し外國へ註文したる機械類も戰亂の爲め製作輸送に相當の困難を嘗めたるも同社は特に社員を海外に派遣し直接各種の接衝に當らしめたる爲め多大の故障もなく目下製作完成のものより漸次積出し中なれば建築工事の進捗に伴なひ此の種機械材料類の著荷順により据付を急ぎ明年六月頃までには豫定の如く機械の運轉を行ひ鴨綠江材を原料とし製造せられたるアートパルプを各地の市塲に提供するに到るべし

◆本社　は第二計畫として製紙の抄造をもなす筈なれども差當り第一期計畫として年產一萬五千噸のパルプを生產するの規模にて製品は最近內地に於けるパルプ市況の供給不足に鑑み其の大部分を擧げて內地に移入するに至らんも朝鮮に於ける對外貿易の進展を計る上に於て餘剩あらば南洋、印度、滿洲方面にも輸出するの計畫なりと因に原料材は本年約七十萬尺締餘の伐採を終り目下惠山鎭、南社水等の上流より流下せし著材の整理に忙殺せられつゝありと

◎壯觀を極めたる我が○○の驛頭に於る觀兵式

肥馬秋空に嘶て意氣天を衝く

○○○○○長は長春驛頭に於て觀兵式を擧行せるが我市民は驛前庭園より東斜街及び地方事務所前に堵列し驛正面入口左右には喇叭手の一隊を挾みて小學校生徒有力者及び軍隊關係者等整列し支那客棧前より左右通路にかけては支那人の群集を以て充されたり午後一時を過ぐる十分毫々たる馬蹄の響きと共に騎兵の一隊を先頭とせる○○○○長は腳先白き栗毛の名馬に跨り參謀副官等を隨へ嚴肅なる喇叭の吹奏裡に其雄姿を驛頭歡迎門前に現はしたり更に喇叭手一隊により吹奏せらるゝ勇ましき行進曲の響き渡るや長春大街地方事務所前より驛東方に向け行進し來る我○○○○○の鐵隊は聯隊旗を捧持せる步兵の大部隊を先頭に機關銃隊、工兵隊、衞生隊の順序に步武堂々一絲亂れず○○長に頭右の敬禮を殘しつゝ順次東斜街に向け行進する狀轡ふるに物なく長春驛頭未曾有の偉觀を呈したり最後に神總の外は約七八寸の片影よりなき名譽ある聯隊旗を先頭とせる騎兵の一隊の行進により終了せしが此間○○長は歡迎門右側前面にて始終舉手を以て之を迎へられ終ると共に各將校を集め講評あり二時過式を終了せしが此日支那側より裴鎮守使來會親しく參觀せり（長春）

◎豐饒なる蒙古の遺利

百二十萬方里の大沃野に產出する農產及び獸畜と工業

時局以來西伯利方面に於て著々經濟的地步を獲得しつゝある米國は更に蒙古方面に迄其の觸手を伸ばさんとし大いに暗中飛躍を試みつゝある元來蒙古の面積は普通百二十萬方里と稱せられ一部未開の荒蕪地を除き他は概して有望なる耕地となるべき沃土である前年關東都督府調查課で調查した赤峰の如きすら其產物は實に大したものである此等に對しても某國は流涎し漸次手を付けようとして居る

農產物集散表

小麥五萬石、大麥三千石、高粱三萬石、粟三萬石、蕎麥五千石、黍五千石、合豆二千石、元豆二千石、綠豆三千石、芫荽二千石、小麻六千石、大麻六千石、瓜子兒二千石、燕麥一千石、小豆一千石、胡麻五百石

等である若し農業をして更に文明的耕作を爲さしめば倍額或は三倍の增收ある事疑ひなし

獸畜及び獸皮等

馬（乘用）三千四百頭、同（役用）一萬二三千頭、牛四千頭、騾三千頭、驢一千二三百頭、豚一萬五千頭、羊一萬五千頭、山羊皮十萬枚、山羊板（山羊皮の下等なる者）八萬枚、狗子皮一等二等四萬枚、綿羊皮二十萬枚、羔兒皮羊の一種七萬枚、牛皮十萬枚、馬皮七萬枚、騾皮四萬枚、驢皮五萬枚、豚皮二千枚、狗皮二萬枚、猫皮一萬枚、家鼠皮二萬枚、狐皮一萬枚、山猫皮八千枚、春羊毛九百萬斤、秋羊毛四百萬斤、羊絨三百萬斤、駝毛四萬斤、豚毛十萬斤、騾鬃四萬斤、馬尾五萬斤、馬鬃二萬斤

等貴重なる畜產物なるが如し其他製造工業藥材の如き蒙古特有の產物も尠からず只一小都市に產する產物でさへ右の通りである他は推して知るべしである同地には日本人經營に成る甘草エッキス工塲等があつて此等も至極有利であるとの事である某國の流涎するも當然である日本の如きもよろしく發展を試むべき土地ではあるまい歟（奉天）

◎關東州の鐵鑛

西歐擾亂以來鐵類需用の激增は遂に其價格をして空前の昂騰に導き杞憂措く能はざるに陷りたるが更に米鐵禁輸問題勃發し其交涉行惱みの儘となり時局の推移は益々鐵材需用難を喚起し苦心慘澹遂に鐵を得るに道なき窮境に達せり從つて世界到る處鐵鑛經營を誘致し世人競うて同鑛發見に苦心するに至り其餘波遂に滿洲にも及び關東州金州管內に於ける鐵鑛の如き小半島附近の鐵鑛の如きも既に採掘の手續きを了し或一部は許可を見たりと云ふ最近大連逢阪町南方李家屯附近に於ても一鐵鑛を發見し更に寺兒溝石油倉庫南方山丘にも發見し何れも目下出願中なり大連小崗子鐵鑛所の經營開始するに於ては是等諸鐵鑛は地の利を得て遂に利用の途を講ぜらるべし殊に滿洲大連には鐵類の大需用を感ずる沙河口工塲を控へ居れば大なりと雖も据つべさに非ずと甚だ有望視されつゝあり（奉天）

◎油が切れて自動車が廻らぬ

◆滿州では目下大恐慌◆

辛うじて漸く僅かに運轉す

近時各地に於ける揮發油の地元掃底と且つ列車時刻變更により移送に困難を來たし延いては自動車の運轉に困難しつゝあるが現に滿州纖居自動車部忠北組合自動車の兩部は揮發油の持合せ僅々二十二箱を有するのみにして漸く兩社協議の上折半して使用運轉せるも之を消費し盡したる塲合は餘儀無く運轉を中止するの外なく忠北唯一の交通機關も爲に杜絕の運命に至る

◆東京うわさの噂

或る所で或る露國の士官が露西亞が今日の如く土崩瓦解して、往年の世界最大强國であつた佛も何處へやら、恰も亂脈の如き天地となつたのも、其の初めは小さな勞働者の不平から見たいなものからであつた。であるから當時は誰も露西亞を今日の如く亂脈なるものにしようと考へてゐたものは一人もゐない▲所が其れが次から次へと大きくなつて、終に今日の如く容易に收拾することの出來ない狀態となつた』と云つた恰度八百屋お七が單に吉三戀しさ會ひたさの餘り、以前にも然うであつたからといふので我家に火を放つと、遂に江戶の半分以上をも烏有に歸せしめたのと同じことだ▲惑う考へて來ると日本に於ける此の間の米騷ぎも、殊に此の頃徒らに勃發する九州炭坑のストライキの如き寔に忌むべきの傾向と云はねばならぬ（東京支局）

（揮發油）べきを以て各地に揮發油の有無問合せ中なるが幸ひ群山某商人の手に約四十餘箱の持合せ品あり其の補給を得て漸く辛うじて運轉を繼續すべきも右の如き次第にて此亦使ひ盡す塲合は止むなく運轉を中止するに至らんといふ（滿州）

◎釜山藝妓のストライキ後聞

◇未だに解決がつかぬ◇

警察側は一步も假借せず

釜山警察署で藝妓の檢黴を決し之に應ぜざる者に對しては拘留五日の即決處分をしたので四十幾人の藝者は何れも抱主に楯を衝いて客席に出ないといふ決議をしたが未だに此の解決が附かず揩つた揉んだで日を送つてゐるが一方警察側では威信に關する事であるから例令どんな事があらうとも檢黴を拒む者は容赦なく拘留にするといふので紛擾を極めてゐる（釜山）

◎例へ一兵卒でも光榮を擔へる武人の妻

健氣なる手紙

我軍の北滿出動により長春通過北行する我兵は何れも一二日は長春で宿泊して行くが近來は何分大部隊の事とて市中の宿合と云はず民家と云はず何處も彼處も兵士の宿泊して居らない家は無い位で隊の集合の都合によつて三疊位の居間に十人からの兵が居るかと思へば四疊半か五疊半位の室に十六七人も重なり合つて居る又料理屋の樣な大きな家では二百人からの兵が泊つて居る所がある其れが近頃は何れも數日間も滯在してゐるのであるから之等の兵士に就ても種々變つたローマンスがある

先頃長春に來著し今猶某區の民家に宿營してゐる○○隊の兵士某君に國許の妻より書簡が來た處が本人は他地へ出稼ぎ中召集の命に接し國許へ歸る暇がなく目的地に直行し夜の十二時頃に入營すると共に翌朝の七時頃に出發して渡滿し

水莖の跡も鮮か

たのであるから妻の手紙を得て非常に喜び自分の戰友に示したので戰友が讀んで見ると書いてある大要は『今度の御國の戰ひには貴郎も何れ御出征なさる事とは思うて居りましたが先日里の方へ父母の機嫌を尋ねに行きました際恰度父母に宛て寫眞を添へた貴郎の御手紙により愈々御國の召集に應じて戰地へ御出でになる由を承知しましたから妾の方へも乾度御手紙を下すつた事と存じ早速立歸つた處

御手紙は著いて

ゐましたが何故か妾の方に寫眞が御座いませんでした』との優しい前置に『扨て父上母上の事は妾がお留守中必ず大切に仕へて居りますから家の事は一切御心配無く此上は御國の爲め人樣に引けを取りて笑はれる樣な事のない樣立派な働きをなし名譽ある軍人としての本分を御盡し下さい』とて

夫を激勵し次に

『貴郎は平生より餘り丈夫でない上殊に寒さの烈しいと云ふ西伯利の方へお出でになる事故妾は其れのみ心にかゝり貴郎の御手紙を頂くと共に貴郎の御身に御病氣の無い樣村外れの神社へ

日參して御武運

を祈つて居りますと』の健氣なる文字に讀む者聞く者も淚の爲めに聲もでなかつたとは尤もの事にて殊に兩人が結婚してより未だ二箇月程より經ち居らずといふ今度來てる兵の中には

朝鮮や滿洲邊より

召集に應じた者も多く其れ等は何れも故鄕に歸る暇が無かつた爲め國へ殘してある家族に訣別する事が出來なかつたの相である（長春）

台所　其の日

◆たぬき汁◆　さつま芋を皮をむきおろし金にておろし少し汁をしぼり細長くまるめ胡麻の油にてあげ味噌汁を甘かげんに仕た中へ豆腐と一緒にささがき午蒡もちぎりこんにやくも入れて差上げます

ロびつくり袋ロ　舊劇　舊劇忍術

甲賀三郎

入場料 普通 一等五十錢 二等三十錢 三等十五錢
割引入場料 一等三十錢 二等二十錢 三等十錢

市內 黃金館

京日讀者優待割引券（一枚二人迄通）

京城日報社

一田畑　一山林
一牧場　一鑛山
一京城府內の敷地

買却希望の方は至急申込あれ
兵庫縣播州別府港
多木製肥所

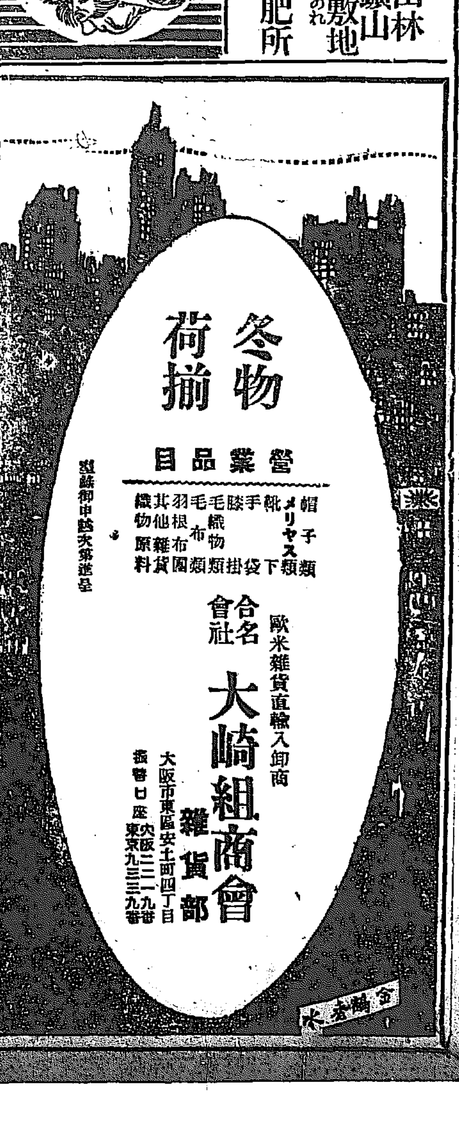
秋風來

素顏のお手入れにお化粧の御工夫に凝つて思案に能はぬけふこのごろも

日毎〳〵に御使用あそばせば地肌が滑澤になりますので美容の目的は思ひのまゝに達せられます

ウヅマキ石鹸を

東京 天野源五郎



謹啓　愈御清祥奉慶賀候陳者弊社儀業務日に發展を來し候事畢竟各位の甚大なる御同情の賜と感佩措く不能候就ては時勢の進運と事業大擴張の爲今般資本金を五百萬圓に增加仕り益々奮勵、誠實、迅速御便利を旨とし御用相承はり可申候間何卒倍舊の御眷顧御引立の程伏て奉懇願候右御披露旁々御禮申上度如斯に御座候　敬具

大正七年九月

株式會社 常盤商會
社長 松方五郎

本社　東京市京橋區銀座尾張町一丁目一番地
電話新橋特長九五八番（貿易部）
同 特長九五九番（貿易部）
同 一三五一番（保險部）
同 一九七五番（電氣部）
同 二五八一番（外國部）
同 三〇〇六番（會計部）
同 三四四九番（總務部）
同 三五八二番（船舶部）
同 三五八七番（社長專用）
同 三七四五番（支配人）
同 三七六二番（工業部宿直用）

大阪支店　大阪市東區今橋四丁目拾參番地　電話本局 特長七五五番 六四二番 二〇〇五番
九州支店　福岡市博多蓮池町拾壹番地　電話福岡 特長二一九三番
朝鮮支店　朝鮮京城太平通二丁目三貳六番地　電話京城 特長五七六番
橫濱出張所　橫濱市山下町二十五番地　電話本局 特長二九九四番

重なる取引國
支那　南洋　印度　米國　英國　佛國　伊國　露國　其他

營業概要

貿易部
□鋼材類
□金屬地金類
□鑛石類
□工業用材料
□機械類
□器具調帶類
□藥品塗料類
□自動車及附屬品
□軍需品類
□織物毛類

工業部
◎電氣製鐵
◎鐵合金
◎特種合金
◎電熱器
◎硅砂
◎坩堝類

船舶部
◎船舶業
◎船舶仲立業

保險部
●英國リバープール、ロンドン、グローブ保險株式會社 外國火災保險
外十大火災保險會社代理店
外國海上保險
●英國ニュージランド保險株式會社
外二大海上保險會社代理店

祝 發展 (大阪旭廣告社扱)

秋思近し 大鐙閣新刊

法學博士小川滋治郎氏 醫學博士佐多愛彦氏・山室軍平氏三氏序
大阪府衛生課長 府立難波病院長 上村行彰氏著
公娼研究 賣られ行く女
四六判クロース美本箱入 定價壹圓四拾錢 送料滿鮮廿錢
誰にすゝむ花のしかけのうき身かな これ著者が卷頭に印刷せし近詠なり世に賣春婦の身上程數奇多端なるはなし統計あり研究あり實事の哀話に富める著者獨特我國最初の出版也

ツルゲーネフ原著 戸川秋骨氏譯 (最新刊)
縮刷 獵人日記
附ツルゲーネフ小傳 新小型洋布裝 美本約八百頁 定價壹圓五拾錢 送料滿鮮二十錢
ツルゲーネフの自然描寫に於ける妙は世界文學の極致也本書は秋骨氏の完譯に成り小型携帯至便秋の野に山に携へ行くに最好し

×時局迫る今日國民必讀の書×
早大教授 煙山專太郎氏著
獨逸膨張史論
菊判六百五十頁地圖數葉入 定價貳圓九拾錢送料拾貳錢
有識者の類書中嶄然頭角を拔く殆んど決定的の名著にして好評忽ち再版

早大外交講師 信夫淳平氏著
外政新論
菊判六百有餘頁洋裝美本 定價貳圓九拾錢送料拾貳錢
歐米の識書界にも殆ど類例稀なる完全にして然も新しき外政編策也再版

前印度總領事 信夫淳平氏著
印度の現勢
菊判六百有餘頁附圖美本 定價貳圓六拾錢送料拾貳錢
本書は最も新しき全印度の解剖書にして指南書たり近代印度唯一の烏瞰圖也

碧瑠璃園先生畢生の大作 (各篇再版三版)
水戸黄門 全四卷 完成
各編總クロース極美箱入特製 定價各壹圓參拾錢 送料滿鮮各三拾錢
上卷には公の幼時を詳述し中篇には美作一國女の騷動の眞相を明にし後篇卷には五代將軍の事蹟越後高田騷動に至つてかの有名なる越前七十五萬石の騷動を描く終篇には顚末を詳述す蓋し近來の好讀物也。

維新傑士 高杉晉作 碧瑠璃園著
美裝箱入 定價壹圓四拾錢 送料滿鮮三拾錢
三千世界の鴉を殺し主と朝寢がしてみたい…この吟懐この抱負維新の大革命を成就したる傑人東行の豪放と敢勇一卷に充つ

碧瑠璃園著 光秀の妻
新型菊美本 定價壹圓貳拾錢 送料滿鮮三拾錢
畏くもやんごとなき上つ方の御台覽を給はりたる名作にして光秀の妻が何閒か生涯の血と涙を以て彩れる稀代の傑作たり

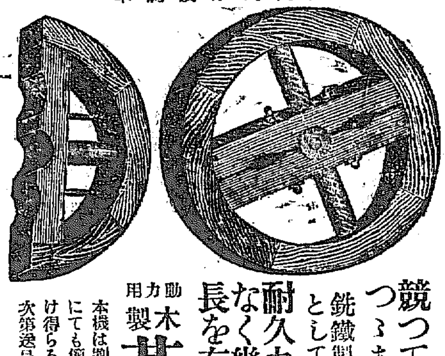
熊澤蕃山 碧瑠璃園著
菊判大型美本 定價壹圓貳拾錢 送料滿鮮三拾錢
凡てが慣習と舊に傳られたる德川時代にありて毅然一家の説を立て遂に幕府の忌諱に觸れて配所に死せる彼の生涯

碧瑠璃園著 (縮刷傑作叢書第七篇) 新刊
縮刷 荒木又右衛門
全一册 小型總クロース天金箱入頗美本 定價壹圓參拾錢 送料滿鮮三拾錢
荒木又右衛門は武士道の花にして又生粹の中の生粹也一代二度の仇を打つ誠に日本の復讐美談中の巨璧と云ふべし初秋絶好の讀物

發兌 株式會社 大鐙閣
東京京橋區桶町十五番地 ■大阪市南區三休橋南詰
振替口座東京三三〇六一八番■大阪二七一五五番

弊所製品は他製品と比較御試驗願度候
各種 半田錫
第一工場 大阪市南區桃谷町
第二工場 大阪市南區谷町七丁目
成川半田錫製造所
電話長南壹參六參番
振替大阪一一六二二番

岡田式木製調車



今や内地の各工場が競つて使用しつゝある
銑鐵製革車代用として耐久力に差異なく幾多の特長を有する
動力用木製革車
本機は割車式なれば素人にても簡易且安全に取付け得らる（說明書御申越次第送呈す）
大阪市南海電車難波驛前
岡田鐵工所木工部
電話南壹四八〇番 振替大阪三七五九〇番

品質優良
半田錫
御使用の際には必ず品質見本御請求被下度候
堤製造所
大阪市南區三休橋南詰
工場 大阪市外中本町
振替大阪三八五六七番 電話長南二三二番 電話南五八五三番

專賣特許 清水式無砂精米麥機
熟慮!!! 斷行!!!
精米機の選擇に惱さるゝ各位は先づ其解決を清水式に求められよ
現代御使用の精米機に不滿なき各位も先づ其能率の增進を清水式に求められよ

注意 模造品八十有餘種あり清水式の名義に御注意を乞ふ
贈呈 詳細說明書御申越次第即時郵呈可仕候
●價格を云爲する時代は去れり
●品質の優秀は現代の要求なり
關西發賣元 大阪市西區九條警察署前
合名會社 廣瀨商會機械部
電話西一六四二番 振替大阪四五七八番

賣行益々盛ふる
馬首印 ラシヤ セル 前掛
相場表送呈
本舖 大阪市東區道修町四
小寺音吉營業部

スミスみやげ
營養劑の王者たる滋養劑
ヘモグロビン錠
壹百錠入 八拾錢 四百錠入 壹圓五拾錢 六百錠入 貳圓拾錢 千錠入 參圓五拾錢
ヘモグロビンの價値は壹冊進呈
ホーヘル博士發見 補血素ヘモグロビン含有
補血葡萄酒
ヘモグロポートワイン
HÄMOGLO PORT WINE

輸入元 大阪周防町 株式會社 日光社
全國藥店洋酒店にあり (說明書進呈)

文明堂編輯部編纂
理想的實用辭典
大好評忽十二版
模範いろは辭典
紙數二千八百八十頁 縱五寸五分横三寸 ●總クロース 箱入 定價金貳圓貳拾錢 小包送料内地拾貳錢 滿鮮樺太臺灣川五錢
本書は實業家教育家諸事務員學生諸君は素より一般家庭に知識の大寶庫として空前の大好評を博した忽ち十二版の盛況を見る最新刊書にして版を重ぬる本書の特長は發音のイロハ順により簡略に引出し得らる、最新式の語數は國語、漢語、成語、俗語、古語、方語より勿論理科法政、醫學、文藝等の專門語に亘る迄之を網羅して餘す所なく約六萬二千五百餘語を集め說明は平易簡明殊に說明中の語句にも更に片假名にて割註を施したり故に其使用の便利、解釋の親切。內容の豐富なるは紙數二千八百八十餘頁を要する大編纂物たるに徵しても明なり。且つ價格の至廉なる實に大正時代に於て傑出せる理想的模範いろは辭典なり是非本書を机上に備へ日用無限の便益に活用せられよ
發行所 大阪東區心齋橋筋 振替大阪四六二一 電話船場一九四番 立川文明堂書店

本年最新流行品
專賣特許 オボロタオルのすそよけ地
優美高尚
□本ネール及英ネール代用
□衣類の爲めに好き事他品の三倍以上
□着ごゝろ好き事他品の數倍
□御進物にも適當です
其他一名友仙タオル 種々取揃あり

裾模様附
□是非一度ためしてください
□全國各呉服店雜貨店に販賣す
□取引御希望の方は大阪市内タオル及メリヤス問屋に販賣す……
發賣元 朧浴巾商會 關西出張所
大阪市東區南久寶寺町一丁目

製品科目
製紙用金網、セメント用金網
鑛山用金網、炭坑用金網
製粉用金網、製糖用金網
其他各種金網製造販賣並ニ輸出向
大阪市南區安堂寺橋通壹丁目
錢屋金網商店
電話南四七九八番
振替大阪五九九五番
第一工場 大阪府下東成郡中本町中濱 金網製作部
分工場 大阪府下東成郡中本町中濱 製線部

諸印材卸商
大阪市南區末吉橋通三丁目
本城商店
振替大阪一〇二四八番
ゴム印
各色印肉
スタンプインキ
其他附屬品一式
正十四金セント萬年筆
專賣特許おきな萬年毛筆

京釜線 京仁線 湖南線 群山支線

第五版

[illegible]十一萬三千九百三十七通[illegible]ひ通數は明治四十年の六千五百[illegible]ら七割四分の增加割合を示し居る[illegible]査の上既に約七千萬圓の經費を以て七箇年位の繼續事業として一大[illegible]七の四箇月間に於る實績より推せ[illegible]信收入の增加額を二千九百萬圓と[illegible]概市況はツキル[illegible]

京城日報

本紙定價　一ケ月[illegible]
廣告料金　五號十五字詰一行[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

朝鮮同胞に告ぐ(一)
日本民族特に神道概念に就いて

京城日報

一、叙言

支那の古詩に云く、周は舊邦なりと雖も、其命は維新なりと。日本帝國の肇創は悠久の古に在り、[illegible]特立して、金甌無缺[illegible]以て今日に至りたるが、其間支那、印度の文化を吸收し、之を固有の思想に同化し、一種特異の文明を造り、特に最近七八十年間は、歐西の文明思想に接觸し、更に長足の進步發達を遂げ、巍然として頭角を見はしたるのみならず、二十七八年戰役に於いて、領域民衆の十數倍せる支那を懲膺し、三十七八年戰役に於いて、當時世界に雄視せる露國を對手として、大いに國光を發揚し、又目下の歐洲戰爭に於いては、東洋の平和を一手に引受け、縱橫無礙に活動しある如き、世界の文明を以て自己の獨占物と思惟し來れる歐米人すら、さすがに驚嘆を禁じ能はざる所にして、或者は之を疑ひ、或者は之を嫉視し、或者は之を好奇視し、いづれも目を張りて將來を注視するを怠らず。中にも稍思慮ある紳士[illegible]は、深く日本の過去現在を[illegible]方面より研究[illegible]の途を求め、此の不可思議なる東洋帝國の眞相を闡明せんとし、朧氣ながらも日本固有の文明と、固有の思想とを看得し、世界文明史上の好題目として、學界の頭腦を傾注するに至れり。之に反して日本人は自己固有の文明思想に就て多くの注意を爲さざるのみならず、中には全く之を忘却するものなきにあらず。一見奇怪なる現象の如しと雖も、恰も猶魚の水中に在りて水を忘るゝが如く、元來日本的文明日本的思想の、濃厚なる雰圍氣の裡に生れ、其の影響感化を受けて成長したるものに在りては、其の環境に就いて、格別の感興を惹かざるは自然の勢ひなれば、是等は深く咎むるに足らずとするも、さりとて自家傳來の家寶を忘れ、只管隣人の財を羨むが如きは、決して褒むべきのことにあらず。

何ぞや。是れ日本固有の文明及思想とは所謂日本國民特有の宗旨にして、主觀的には之を日本魂と唱ふるも、客觀的には、事に觸れ物に應じ、種々の名稱を以て言ひ現はされ、日本主義といへるもの、日本武士道といへるもの、或は國粹と呼び國華と呼ぶもの、皆其の本體を一にせざるはなし。歐米の日本研究家は、一たび其の思想と其の文明に着眼して、漸次に研究の步武を進め、遂に遡りて日本魂の淵源に溯らんと努め、日本古來の傳說、日本古來の慣習道德及び宗教等に就き、最も眞面目に研鑽したる末、必然の結果として、竟に日本國民性の根源たる古神道に到達し、從來歐米學者の夢にだも上らざりし日本の神道は、今や學問界の好研究資料たるに至れり。本邦に於いては德川幕府時代既に許多の學者を出し、各自一隻眼光を具有したる識見議論を公にし、其の著書も汗牛充棟啻のみならざるが、明治維新以來西洋文明の移植に急にしてより、國粹研究の如きは、一時之を學界の外に拋出したる如きの觀ありしが、近時に至り漸く反省自覺の傾向を現じ、眼前に活躍せる武士道の研究はいふも更なり、其の根源たる神道に就いても、或は國家組織の方面より、或は倫理宗教の方面より、或は哲學文學の方面より、或は社會學上の見地より、各自專門の研鑽を施し、國學復活の曙光を探ことして頗る觀るべきものあり。是れ吾人の最も欣喜に堪へざる所なるが、更に此際我新同胞たる朝鮮一千五百萬の人衆に向つて、日本旨義特に神道の大意を概說し、之をして日本國民性の淵源を領得せしむるの必要を感ぜずんばあらず。

朝鮮併合は日鮮一家の大理想を現實にせるものにして、彼の歐西諸邦に於ける武力征服とは、遙に其の性質を殊にせるを以て、極端なる高壓的手段を執り、其の文物風習を變更するが如きは、本來の理想と相容れず、斷々乎として避けざるべからざる所なるも、苟くも同胞一家として共同の生活を營み、内は團欒の和を樂み、外は禦侮の實を擧げんには、少くとも相互の思想を諒解せざるべからず。吾人は必ずしも朝鮮同胞に强ふるに其衣服を羽織袴にし、其家屋を雨戶障子建にするを以てするものにあらざるも、日本國民たる根本的思想に向つて、其甘酸鹹辛を昧ふにあらざれば、眞個の一體融合を求むべからざるを信ず。吾人は尤も大なる露國の崩潰を眼前に見たり。又同じ歐洲に於ても、墺匈聯合帝國が獨逸に比較して、優劣の隔絕甚だ大なるを見つゝあり。而も其より來れる原因が、實に民族衆多の分立より來れる國內思想の不統一に在ることを知らば、日鮮兩民族間に於ける思想の融合を缺くは、將來國運進展上の一大障碍たるを疑はず。

吾人は朝鮮の少年子弟に對し、日本的教育を施し、彼等の心性を鎔冶するの最大急務なるを認むると共に、既に社會に立てる我新同胞に對しても、同じく日本的教化の必要を認めざる能はず。是れ啻に國家的要求たるに止らず、單に朝鮮人側より之を觀るも、自發的に進みて日本文明に同化し、日本思想の涵養を受くるにあらざれば、方今激甚なる競爭場裡に馳進し、進步發展を遂ぐる所以にあらず。日本思想の涵養を受け、日本文明に同化せんと欲せば、先づ其の國民性の淵源を汲み、自ら其の甘酸を味ふを要す。吾人敢て不敏を顧みず、以下序を追うて之を概述し、以て新同胞の一顧を促さんと欲す。幸ひに吾人の言にして、此大義の幾分たりとも闡明し得たらんには、國家社會のため寸功なきにあらざるを信ずるなり。

時局と國民思想(十四)
忠君愛國とは何ぞや(一)

警保局長　永田秀次郎氏談

忠君愛國は我帝國の精華である、古より今日に至る迄此の精華に如何で變化のあるべき。然るに現下の人士にして偶々此の觀念を以て時代遲れのものであるといふ念を抱いてゐるものがありはせぬかと思はれる、即ち帝國に於ける古來の道德に對して不安の念を抱いてゐる者がありはせぬかと思はれる、否不安といふよりも寧ろ疑ひを抱いてゐるものがあるやうにも思はれる、彼等は徒らに新しきを喜ぶて西洋の道德を模倣せんとして居る、然も其の西洋の道德即ち所謂道德を眞に咀嚼して居れば過ちもあるまいが半可半解が一番危險だ、而してその新道德とは如何なるものかといへば即ち自個の權利を主張すると共に他人の權利を尊重するといふのがそれである、然るに半知半解の輩に至つては自個の權利は徹頭徹尾主張するが他人の權利を尊重する事に於いて愈々沒却である、又西洋で生命として重視してゐる自個の義務と云ふ事を知らないのである、所謂西洋に於ける自由思想の長短を併知する事が出來てゐないのである、要するに新道德の本義を解せず舊道德に疑ひを抱いてゐる國民が偶々あるのである、今度の騷動に對しても一般國民の緊張に動搖を來してゐるのだといふ人もあるが是れは餘りに仰々しい言ひ方であつて吾輩は斯くは言ひたくない、然し結局は前述の如き斷定を下さゞるを得ないこゝで茲に於て一言したいのは西洋諸國と我帝國との建國の順序並に國風人情等をよく〱解しなければならないといふことである、

彼の征露の役に於て世人の夙に知る如く東郷大將は日本海の激戰に先立つて『皇國の興廢此一戰にあり各員奮勵努力せよ』との信號を發したではないか、此の信號は各員の頭腦を直接に電擊したのであるが、若し此の信號を西洋の軍隊に用ひたならば如何であらう、彼等の頭腦には如何許りの刺戟を與へぬであらう、是と同時に我軍隊に對して各人其義務を盡せといふ命令を下したとして如何許りの感激を與ふる事が出來やう、彼の英國のネルソンはトラファルガルの激戰に於いて英國は各人其義務を盡せといふ信號をなした、此信號は日本海に於ける東郷大將の信號の我軍に多大の刺戟を與へたのと同樣に英艦隊に非常なる決心を促したのである、是れ程迄に人情を異にしてゐる外國の諸事を半知半解の儘にして帝國古來の道德に疑ひを抱くのは甚大なる誤りである、然し世の變遷といふ事は如何ともなす事が出來ない、そこで是れ等の變遷に對しては時代に伴なつた言語及び動作を以て我國古來の道德即ち忠君愛國の精神を訓識しなければならぬ、見よ飛驒の山脈も近時日本アルプスの名を附せられたではないか、日本アルプスの名を附したゞて彼の山脈は高くもなるまい又低くもなるまい、然し是が時代の言葉である、老人などは此の日本アルプスの名を以て甚だ不滿らしく思つてゐるやうだが、飛驒の山脈といつて示すよりも寧ろ時代語たる日本アルプスの名を以て示せば自然現代人士の耳底に留まるかも知れない

文祿役の發端に就て(四)

田中文學博士講演

其後講和の議が起つて朝鮮から日本へ使者を遣はしたが其時にも秀吉は京都の市民に命令を發し朝鮮の使節は馬に乘ることが下手で或は落馬するかも知れぬ、それでは誠に氣の毒だと云ふので極溫和しいよく馴れた馬に使節を乘せる樣に、又途中に於て朝鮮の風俗を見て嘲ることか或は惡口する者でもあつたら嚴罰に處すると達した。斯んな工合に敵國に對して實に手厚い待遇を與へたものである。ところが朝鮮では日本人が大變に亂暴をした樣に傳へられ又日本でもさう云ふ風に想像した書物もある、尤も多くの軍隊の中には或は亂暴を働いた兵卒などもあつたかも知れぬが秀吉の意中は決してさうでない、一視同仁的の至つて寬大な考へを以て朝鮮に對して居た。此事は朝鮮の方々にも聞いて貰つて置くと好いと思ふ。序に此文祿役の影響に就て少しく述べて見よう、此の役の發端は前述の如くであるが抑も秀吉は何故に朝鮮を介して明に交通を申込んだかと云へば、當時明との國際的交通は餘程前から絕えて居た夫を回復すると云ふことも固より理由の一であるが結局其の頃の時代の一般風潮に促されたものと云つて宜しからう、比較的新しい材料で一二例證を擧げて見ると、秀吉が九州征伐の後鍋島肥前守に對し『九州を平定した上は何處でもお前の望む所の領地を遣らう』と云ふと肥前守は『私は九州に於ては領地は望まない、其の代り私共の領民が明の國へ行つて行りついてゐるから何うか其の邊の土地を頂戴したい』と云ふことを書面を以て秀吉の方へ申立てゝ居る、行りついてゐるとは移民して拓殖してゐることである。又龜井武藏守なども中國に於て何處なりと所領を望め、と問はれた時に『私は頂けば出雲の國だが夫れが貰へなければ何うか琉球を頂き度い』と答へた、秀吉は是れを許したと云ふことである。

並行線(八十八)

瀧閑村

宣太郎はおのぶの顏を見るのが苦痛になつた、加之、おのぶは傷心の極氣が[illegible]もしない有樣だから、兎も角も一時實家へ託した。淋しい家に一人殘つた。

おのぶが居無ければ一戶を構へてゐる譯には行かないが、さりとて汁臟の處へも兄の處へも行きたくは無し、夏子の世話になるのも面倒に思つた、暫く下宿しようと思ひ定めた。今朝は留守を隣家の內儀に賴んで役所に行かうとした時に門で郵便配達夫から、兄の所から附箋の附いた手紙を受け取つて、ハツと愕いた。

それは靜子からだつた。

宣太郎は裏を見、表を見乍ら封を切るに躊躇した。五步行き、十步行つたが、思ひ切つて開封して讀んで行くうちに顏色が變つた。步は自然に停まつて

『あ、靜子も死んだ。』と思はず叫んだ。

寒さも[illegible]るに近い佳い日がさして明るい陽の下を、快い花の香の漂ふ中を宣太郎は盲人の如くよろ〱と步行いた。

『靜子も死んだ、靜夫も死んだ、』

頭の中は此二つの悲しみで一杯になつた。世界が何故破滅しないかと思つた。ともすると眼前が眞暗になつて顚ばうとした。

『俺は一體どうなるんだ。』

考へて〱考へは同じ所を往つたり、來たりしてゐた。頭がグラ〱して來た。

それでも宣太郎は試驗場に行つた。同僚から靜夫の悔みを云はれても、唯お辭儀ばかりしてゐた。悲しみの故だらうと同僚は皆同情して『暫く休養しては』と勸めてくれるものもあつた。

其日は丁度月給日であつた。宣太郎は月給の袋と、同僚中で企てた貯蓄無盡が中つたので其金とを受け取つた。

二度も三度も靜子の遺書を披いて見た。

靜夫の顏もまだ眼の底にこびり付いてゐた。

思ひ出して宣太郎は藥を飮んだ。そして

『馬鹿な、藥を飮んで一體どうするつもりだ。』

と自分を嘲つた。

宣太郎は歸るべき家は無かつた。あの淋しい家へは歸る氣になれなかつた。

『滿洲へ行かう、滿洲へ行かう、』

ふと黑田の事が頭に浮んだ。宣太郎は蘇生の思ひをした。

靜夫は墓にゐる、おのぶは實家に歸つてゐる。此靜岡に何の未練があるものか、靜子が亡くなつたら、山本社長も自分を咎めもしないだらう、靜子の墓に詣つて、そして骨を滿洲の果てに埋めよう――高粱の野の末に血のやうな陽が落ちる景色が眼に見えたりした。

宣太郎は辭表を書いた。そして机の抽斗へ入れたが、途中から送らうと思ひ返してポケットに收めた。二時頃に一同に挨拶して試驗場を出た。

足は自づと停車場に向つた。京城迄の三等切符を購つた。暫くすると改札が始まつた。

『此列車は岡山行ですよ。』と驛員に注意されたが

『それでいゝのです。』

と宣太郎は昇降場に出た。そして着いた列車の後部の室に腰を下した。

『先づ是で宜かつた。』と思つた。

列車は搖ぎ出した。すると此可厭な追憶の多い靜岡も忘れ難い氣持がした。人々に挨拶もせずに出發した事が悔まれた。モウ一度引返さうかと案ぜられた。おのぶの身が思ふ間にズン〱靜岡市が遠ざかつた。

[illegible]い音を立て、列車は今安[illegible]りつゝあつた。

新學年開始

早稻田大學講義錄

入學

總長大隈侯爵指導統裁＝經營三十有餘年＝最新最良の名天下に冠たる五大講義錄を見よ

政治經濟科講義

學者の[illegible]給與其他大特典提供

模範的國民上の修養寶典にして各種試驗受驗者の必讀すべき好資料

十月一日發行　第一號　十八ヶ月修了

學課及講師
政治原論　政治道德論　浮田博士　帝國憲法論　淸水博士　行政法總論及各論　島村學士　地方自治制論　淸水博士　市政論　安部教授　列國政治論　山本主任　經濟原論　服部教授　財政學　平沼博士　貨幣論　河津博士　銀行論　服部教授
財政學　租稅公債論　田中博士　會計學　小林教授　統計學　工藤博士　社會政策　桑田博士　交通政策　伊藤博士　近世政治史　櫻山教授　外交史　ドクトル　商業史　平沼博士　社會學　遠藤博士　法選學　中村博士
刑法　民法　商法　國際公法　國法學　行政法　一般論　法學通論　演說法　[illegible]
其他研究法、政治經濟辭解、竝に資料、講演、時事、評論、早稻田紀事、有益多趣の雜錄等

法律科講義

斬新なる法學の解說を網羅す故に一般國民の顧問にして受驗者の師友

十月五日發行　第一號　十八ヶ月修了

學課及講師
法學通論　中村博士　帝國憲法　淸水博士　行政法總論及各論　島村學士　刑法總論及各論　泉二博士　民法總則　井田博士　物權　三潴博士　債權總論　横田博士　親族法及相續法　牧野博士
商法總論　柳川教授　會社法　寺尾教授　手形法　松本博士　商行爲法　須賀博士　保險法　粟津博士　海商法　市村博士　刑事訴訟法　鹽島博士　民事訴訟法　岩田教授
國際公法　國際私法　[illegible]
其他試驗問題、判例、資料、辯論、演習、解答等

文學科講義

中等教員、文學家(就職)模範人格の唯一獨習機關

十月八日發行　第一號　十八ヶ月修了

學課及講師
[illegible]

中學科講義

最確實に中學入校同樣の學力が得られて立身成功の基礎となる日本一の講義

十一月一日發行　第一號　二箇年修了

學課及講師
[illegible]

商業科講義

商業大發展の時勢に適せる實力本位の活學問

十月廿日發行　第一號　十八ヶ月修了

學課及講師
[illegible]

講義見本つき規則書　直に進呈　申込次第にて

東京牛込早稻田　早稻田大學出版部　電話番町[illegible]　振替東京[illegible]

入學金全免

商業登記公告
[illegible]

京城地方法院
[illegible]

商業登記公告
[illegible]
利川出張所

朝鮮總督府[illegible]
[illegible]生徒募集
[illegible]

特約店募集　詳細入說明書[illegible]

道輪入　新式捕獸器

毛皮高價買入
吉川米次郎商店

◇講和提議と墺公報

維也納よりの公報に曰く墺國の講和提議は猶未完結狀態にあり同提議に對する英國外相バルフオアー氏の演說は輕率も亦甚だし（合同通信社電報）

◇カレリア軍過軍擊退

ムルマンよりの公報に曰くカレリア軍は獨將校の指揮する過激派軍の進入に對しヴクーチンスクに於て之を邀擊し過激派軍は多大の損害を蒙り算を亂し芬蘭方面に遁れたりカレリア軍は小銃一千其他軍需品及び多數の船舶を鹵獲せり（合同通信社電報）

◇佛塞軍の捷報

塞軍は今やバイヅ、モナスチール及びドアラン方面に於て退却しつゝあり而して佛塞聯合軍は塞軍一萬の俘虜を得たり最近迄の佛塞軍の進入は最も深き處に於て十七哩に達せり（合同通信社電報）

◇小露匪徒跳梁

小露西亞に於ける匪徒は益々猖獗を極め彼等は獨軍の軍用列車を爆裂彈を以て破碎し既に十ケ村落を占領せり（合同通信社電報）

◇漢口駐屯軍交代部隊出發

漢口駐屯軍は今回滿期師還す可きにより其交代として第六師團より將校三十名下士卒六百五名派遣の事に決し鹿兒島聯隊將校七名下士卒百四十九名都城聯隊將校六名下士卒百四十四名熊本聯隊將校十七名下士卒三百七名は孰れも廿二日正午〇〇船に搭乘し門司港を出帆せり（門司特電）

◇京都市會議員

京都三級市會議員選擧は投票の結果市村、田島兩博士最高點にて當選せり（京都電報）

◇福岡縣教育會主催滿鮮視察團

福岡縣教育會主催滿鮮視察團三十餘名は同縣女子師範學校長永瀨伊一郎氏を團長として廿二日午後門司港出帆先づ青島に向ひたるが夫れより順次滿鮮を視察し來月十六日頃釜山より連絡船にて歸途に就く筈也（福岡特電）

◎歐洲西部戰況

歐洲戰場西部戰線に於て獨軍が豫定の退却線とせるヒンデンブルグ線を死守せる兵力は凡そ二百個師團にして之に對する聯合軍の兵力は略對等の狀に在るが如し最近に於ける攻防狀態はアラス、ランス方面にては去十日前後聯合軍の

▲大々的協同策戰に基づき英米佛の三國軍はカブレールよりアンブラン、エクール、サンカンタン、アルクイオンの直南に至るヒンデンブルグ線の一部を猛擊し遂に完全に之を占領し今や彼我互に目睫の間に攻防擊拍の所謂直前交戰をなしつゝあり其勝敗の數は元より未知數に屬すれども獨軍の意氣頓に銷沈せるに反し聯合軍は米軍の來著に依り日一日と氣勢を昂進し未だ勝たざるに凱歌を擧ぐるの概を示せりヴエルダン方面は十二日よりパーシング將軍の指揮する米軍(佛軍の一を含む)はサミエール突出陣地の側面の攻擊を開始したるが恰も其兩翼の優勢なる佛軍が之に策應するあり十四日頃迄にヴエルダン、エタン街道上のオートクール附近よりフレースヌ、アントビーユ、ジョルニーを經てポンタムーソン北方のパーニー附近に進出する得獨逸の國境より僅に二哩を隔つる一線に於て第二次攻擊を行ふべき準備に著手せり翻つて考ふるに獨軍今次の敗退は半は其肯定的行動に出たるものと見らるべきも半は米軍來著の大勢に威壓されたるものゝ如し始め獨軍は三月廿一日以來佛軍と

▲一擧に勝敗を決すべく前後五回に亘る攻擊の結果佛軍を土俵際迄押し詰めたるも巴里は遂に如何ともする能はずこの一語を發し九仭の功を一簣に缺きたる觀ありしが現下に於ては獨軍は其佛軍を押し詰め得たる程度の成功を逆轉し自ら危地に陷れるに外ならず今後の成行如何に就ては聯合軍が二三日前よりサミエールの攻擊に著手したる報道の遂しつゝある以上或は彼が唯一の耐忍陣地なるヒンデンブルグ線も全く我の物となるやも知るべからず（軍事通訊）

◎鮮鐵荷動概況

▲石炭 前月に比し增加二輸送數量の大部分を占むる安東經撫順炭及び平壤煖鐵所南浦著鐵業所炭に於いて前月に引續き出荷好況にして輸送股賑を極めたり前者は一萬二千九百二十七噸後者一萬四百噸を算し總數量に於いて前年同期に比し一千餘噸を增加せり工業界の活躍に伴なふ需要增加は其の主因にして龍山、平壤、鎭南浦、南大門、成歡、孟中里、大邱等は其著騰の主なるものとす

▲木材 前月來徐々昂騰の氣勢を示したる本品は本月に入りても尙步一步と强調を辿り殊に總數量の大半を占むる鴨綠江材は流筏最盛期を經過し一層高騰の氣配を示せり然ども一方需要は天津上海方面の大口取引盛に行はれ鴨林廠材の如きは原木の拂下を中止するに至れりと之が影響を受け鮮內の取引も[illegible]

輕便となり特別輸送に施行日の追加と共に所用車輛の集中に輸送力を減殺せられ一般荷動へ步々しからず前月に比し三千二百餘噸の減を示せり本月中新義州及び安東發は七千六百三十三噸に過ぎず之が詳譯としては龍山南大門、平壤、鎭南浦、大邱等宛は連帶扱として撫順、大連、營口等を主なるものとす

此の他新安州發平壤炭新穀著枕木及び倂店中松材は又前月に比し幾分の遜色を免かれず

▲雜穀 米穀空前の暴騰により之が代用食料として本品の荷動は頗る活潑となり前月に比し七千五百噸餘に十四割の激增を示せり麥及び安東、新義州、滿洲粟は其の最も著しきものにして前者は相場の狂騰に連れ小口取引殷盛を極め出荷數量七千噸に達し大豆の上位を占め前例なき記錄を作れり後者又總數量の四割に相當し殆ご全線へ分布せられたり就中南大門、元山、釜山、鎭南浦、新義州は其の大なるものなり而して前述の通り內地に於る米價暴騰打擊は到底朝鮮の比にあらず之が調節上外米の輸入と共に又本品(粟)の移入を喚起し大阪下關門司へ輸送したるもの尠からず而も總數量に於て前年同期に比し七百三十二噸の減少を示すは前年度に於いては米國產麥の輸入杜絕し爲に內地及び滿洲に於ける製粉界の活躍により小麥の輸移出旺盛を極めたるに因る

▲大豆 米價の奔騰に連れ本品又騰昇し取引活況を呈せり然れごも產地は既に品源を告ぐるに至り加ふるに常に積送第一位に在る安東發は大降雨により鴨綠江の大增水となり河搬船の破損沈沒するもの多く爲に上流筏地よりの入荷杜絕し出荷著るしく減退せり殊にこして西水運最も多く一千九百七噸を算し安東新義州南大門鐵原等を主なるものとす殆んご內地行にして直通扱約三千噸釜山打切扱二千五十三噸を算せり

◎上半京城財界

鮮銀調査九月上半の京城財況左の如し

▲先弱の米界 幾分落付氣味に越月したる米穀は內地に於ける調節令收用令の實施及び京城廢貨等の影響を受け手持筋の賣氣を喚りたるご新米走りの出現ごにより氣配稍軟弱に傾きたる折柄內地筋の註文大いに減少したれば玄米八月初め三十三圓なりしもの十四日三十二圓ご下落を見たるも精米上等品は原料薄に依然强合味に推移し月初め四十圓を唱へしも十四日に於て玄米安につれ僅々五十錢方下押し三十九圓五十錢となりたるにすぎざりきされご中分なき天候ご新穀出廻期の喰つなぎも略見當つきたれば相場は此の邊に於て落付釘付狀態なるも幾分先弱の氣味なり一方二日より立會を開始したる仁川期米は正米市場に比し廿三圓八十錢ご云ふ格安相場にて新市を開始し其後殆ご變化なく廿四圓十六錢を高値に上半を經過せり

▲綿絲布の波瀾 綿絲布は相變らずの輸出好望ご米棉高により三品市場は依然奔騰を繼續したれば京城市場も之れが影響を受け尙ほ從來より品薄ご目先移入困難ごを見越し內地ごは異なりたる狂奔相場を現出し需要期節によるエー印は躍進して遂に四百圓台を突破し四百三十圓ご云ふ突飛の高値を唱ふるに至れり此の如く强氣配なりしも中旬に至り米棉作柄の見直し印度政府綿絲布調節令發布の入電あり旁 地方筋一巡行き渡りありたるこにより下押し氣味ごなれり

▲保合ひの粟 粟は在荷潤澤なりし上正米安に買氣鈍り荷間への値なりしが其後車輛輸送許り益許支那粟の輸入困難にして入荷望み難かれば幾分持直し强含みなりしも相場は區々にして十三圓四十錢見當に保ち合ひたり

▲金融の狀況 商況斯の如くなりしを以て米穀買出資金の需要大いに減少したりしも一方綿絲布冬向雜貨の買出資金の需要增加したりしを以て預金は四千二百八十五萬圓を示し前月に比し百二十三萬圓を減じ貸出は四千六百九十二萬圓にして十八萬八千圓の增加を告げたり

大阪より

▲大阪府鐵工業 大阪府の鐵工業は大阪市內八十四箇所郡部百二十一箇所合計千五箇所に上り其工業種類は諸機械製造業六百八十五箇所鑄造業百三十五箇所火造業百四十二箇所製罐業二十箇所造船業十四箇所の割合にして工業所市郡區別は大阪市東區百七十三箇所南區二百三十二箇所北區二百十九箇所西區二百六十箇所合計八百八十四箇所にして郡部は堺市二十箇所東成郡五十六箇所西成郡四十五箇所合計百二十一箇所なり而して鐵工業の實力を發揮するに納稅額五千圓以上三名一千圓以上十一名五百圓以上八名二百圓以上廿六名百圓以上四十九名五十圓以上百三十二名卅圓以上廿名にして其他は卅圓以下なりと

▲支那蠶絲業發展 支那蠶絲業は逐年發展に向ひ且つ交通機關の發達は機械製絲業の發達を促進し繭は凡て海岸の各市場に搬出せらるゝ爲其中心に當る廣東蘇州及び四川省の如きは重要なる商市場こなり生絲產額は詳らかならざるも日本の產額を凌ぎ居る由にて特に桑園反別增加の餘裕豐富なる爲海外輸出の狀況にして好調ならんか近き將來に於て世界一の蠶絲多產國たるに至るべしこは支那斯業者の豫想なりと云ふ而して全國主なる蠶絲工場は十二萬二千四十八箇所にして上海方面一萬三百八十六箇所鎭江方面四百五十九箇所無錫方面二千五百卅二箇所蘇州方面一千箇所杭州七百三十箇所廣東方面九萬五千四百箇所四川方面三千四百四十四箇所にして其大部分は廣東省の占むる所なりき

▲鐵材輸入激增 米國禁鐵こ在荷薄を理由こして銑鐵四百圓の大暴騰を演じ戰前相場に比し十倍の相場こなりたるが其實鐵材の輸入は昨年より著しく增加し在荷缺乏を感ずる筈なく全く二三思惑商の買占に據り暴騰せる空景なること判明するに至れるが其證明として本年一月以降八月に至る鐵輸入高を擧げんに其總計は二億百四十五萬二千圓にして昨年同期の一億九百廿四萬圓に比し約二倍に近き九千二百廿一萬二千圓の大激增にして昨年前に於ける對米貿易は約一億六七千萬圓の輸出超過なりしが本年は一月以降七月迄に約九千萬圓以上の輸入超過の逆調こなりしは其原因主こして鐵材の輸入に係るものなり是れ米國禁鐵の實際に行はれざるを示すものにて何等輸入の困難なきは明白なり之に徵するも邦那の不逞至なる鐵材暴騰は全く國益を無視する買占暴利者の惡戲なれば政府は斷然之を取締るの必要あり尙主に米國より來れる鐵材を擧ぐれば鐵條、鐵板、鐵線等一億四千七百五十九萬八千圓鐵管及び鐵管九百四十六萬二千圓鐵塊及び錠三千百七十萬二千圓にして鐵等其他は昨年同期に比し六千六百三十九萬七千圓鐵管は五百四十二萬四千圓鐵塊錠は千八百七十四萬三千圓を增加し是以外に鐵其他千二百六十九萬圓の輸入あり是亦二百九十萬圓の增加を示せり(竹水生)

◎貨物輸送系統

特別輸送の結果朝鮮鐵道の貨物輸送力激減したるため朝鮮內の貨物移動系統は大に變調を表し居れるが最近仁川より雄基仕向け貨物を始め又鐵道輸送貨物大に減じその影響は當然各港の鐵業貨物を增大せしめ居り朝鮮郵船會社の航路の如き自然貨荷の增大を來し居れりこ尙ほ此の狀態は十月末頃まで繼續すべしこの事なり

◎朝鮮人蔘將來 世界的需要

總督府囑託藥學博士[illegible]氏は朝鮮人蔘について語つて曰く本年紅蔘の產出高は例年より尠く二萬斤內外なるが之は六年前植付の數量の尠きに基因せり紅蔘は人蔘中最良のものを選び夫を名付けたる名稱にて植付けの數尠きに於いては良好のものも隨つて尠き譯なり目下朝鮮に於ける人蔘の植付總坪數は十五萬坪にして開城を中心こし附近九郡に亘りその面積は先づ我

▲內地の一縣 に相當せり開城附近はその地味人蔘の培養に尤も適當し總督府に於いては毎年同附近に二三十萬坪の植付けをなし居れるが本年は例年より多く五十萬坪の植付けをなす豫定なり而して三四十坪の土地より產する紅蔘は總督府の專賣こして三井の手より支那方面に輸出しその價格は高價にて斤六七十圓なり內地に來る分は凡て白蔘にして紅蔘は得ること困難なり朝鮮人蔘を

▲强壯劑 として醫師が藥用に使用せしは最近のことなるが米國に於ても人蔘の有効なるを認めこれが需要をなすに至りたるため近き將來に於いて朝鮮人蔘は世界的需要を見るべしこ確信す

◎京畿道春蠶狀況

大正七年度京畿道管內に於ける春蠶飼養及び收繭狀況を聞くに飼養戶數二萬九千九百八十二戶掃立數新種二千九百三十九枚內地種三萬三千六百九十四枚合計三萬六千五百三十三枚にして前年度に對比する時は五千四百三十五枚を增加せり而して收繭額は新種一千零五十三石內地種九千零四百三十三石計一萬零四百八十三石にして前年度に對比する時は二千零四十八萬を增加せり

◎朝鮮煙草本店設置

朝鮮煙草株式會社專務取締役川井光太郎よりの出願に係る同會社本店を京城に設置するの件は二十日附許可せられたり

◎釜安間貨車廢止

十日より開始せる釜山安東間臨時貨物列車は京釜線は來る二十四日より京義線は來る二十五日限り之を廢止すべしこ

◎山陰線連絡船賃

山陰線不通區間の城崎荒島間は全通に尙ほ二十日間を要するを以て海路鶴濱境間に連絡船對島丸を運航せしめつゝあるが其船賃及び出帆並に著刻左の如し

▲海路鶴濱 奇數日午後七時境著翌午前六時

▲境 偶數日午後六時發海路鶴濱著翌朝五時一等船賃九圓二等五圓五十錢三等二圓五十錢

◎鑛業登錄(自九月十六日至同十七日)

▲鑛業權設定

金銀銅 黃海道 遂川郡外西面 五十八萬五千八百坪 坂上時與

江原道原州郡貴來面 六十五萬五千四百坪 藤田勇之助、木村太吉

石炭 平安南道德川郡甑上面 五十二萬九千九十一坪 伊藤長藏

▲鑛業權移轉

忠淸南道青陽郡化城面赤谷面 尹龜榮 倉成納作

▲鑛業權消滅

忠淸北道淸州郡北二面 平安北道龍川郡邑東面 同 廢業

▲共同權者脫退

金剛南道麗水郡邊(?)面

◎署長異動 今回警察官左の如く異動ありたり

命忠南部勤務(免兼職召) 忠南舒川署長警部 迫野 純逸

補忠南舒川署長 本町署警部 武田定四郎

命馬山署勤務 慶南警部 寄山秀次郎

◎鮮銀新司事 日本銀行員木庭貞二郎氏は今回朝鮮銀行司事として鮮銀に入り營業局勤務を命ぜらる

人事消息

▲井村與二氏(釜山稅關檢查課長) 鑑定官會議列席の爲滯京中なりしが二十三日午後八時二十分發列車にて歸任の筈

▲好田重吉氏(遞信局長) 廿二日入京

▲神原太吉氏(鎭南浦中村組店員) 同上

▲赤谷哲夫氏(咸南道事務官) 同日浦墓

▲妻木栗造氏(三菱社員) 廿二日出京

▲富田儀作氏(鎭南浦商業會議所會頭) 同上

▲行武貞氏(黃海道殖產銀行支配人) 同上

東畜の計畫進捗

計畫中の東洋畜產興業會社は去る十四日第一回拂込み一株に付十二圓五十錢乃ち五十萬圓を徵したるが目下の所九分九厘方の拂込みあり諸準備を整へ十月に入り創立總會を開催すべし尙ほ東洋拓殖會社の出資分畜牛一萬一千三百頭は十四日東畜に引渡したるが東畜の依託により東拓にて始く飼育する由也

◇鳥瞰雜俎◇

何だ馬鹿々々しいと墺國の講和提議を原案の儘突き返した▲聯合國で笑つて突つ返した米國は戰爭が最う大儀になつたと云ふなら已れ獨りで引受けてやつてやると云ふ大威張りである▲其れも其筈最近市俄古の經濟會の鑑定に依ると▲現在の程度の戰費支出であつたなら米國の富力は優に二十五箇年間の戰爭繼續に堪へ得る相だ▲之ぢや何處から何ご云つても動かぬ筈だ獨帝が如何に蹶起しても之には到底勝ち目がなからう▲伯林城頭に一發の巨彈を見舞はれたより此の一言が獨帝の胸を刺すのだらう▲米國は斯かる大富力を擁して歐洲方面のみに活動する許りではない▲現に西伯利方面にも着々成功的に向つて進行しつゝある▲アラゴエチエンスク陷落し貝加爾湖以東は全然聯合軍の勢力範圍に歸したので各國の實業家も大いに活躍を開始して居るが▲日本の某會社から調査の爲派遣された一技師の書信に曰く▲遺憾乍ら吾々は米國人の足跡を辿る憐れなる有樣に御座候ご▲或意味に於て米國を恐るるものは獨帝許りではないかも知れぬテ▲一臘物も多過ぎては煩に堪へぬ事がある又餘り多過ぎる爲一身の弱點こなる事もある▲暹羅は世界第一の皇族國であつて皇族の多い事は地球上無比である▲暹羅では『石を投げると皇族に當る』こ云ふ言葉がある程其數が多い▲だから皇室と皇族に對する給與を缺ぎ皇族中には零落して市人の扶助で生活して居るものもある▲英冠を希望の人は暹羅に出かくるこ好い英國へ十萬圓を寄附して名を世界に賣らうご云ふ某金持家なごは差し向き暹羅の皇族にでもなつては如何▲日暹親善の爲にもなるよ

◎講和ご聯合國

直に拒絕せん

ご云へば我政府も追つて接受の墺國覺書に於いて其代表者は手を代へ墺國ご異なれ共矢張甚だしき者あて進んで具體問題を提示すべしこ更に羅馬法王の講和斡旋に際して[illegible]

嘗來る可く事實は最早疑無し[illegible]品を換右研究促進の運動をなし居れご獨逸は此際面目上講和提議を[illegible]の說もあり何れにせよ次の墺國も[illegible]

[illegible]

新學期會員募集

見よ本邦唯一の模範的工業講習錄!!!

■講師=東京高等工業學校教官執筆

機械講義 壹年卒業
機械學、發動機、齒車、機械製作法、電氣工學、機械製圖、金剛砂砥石、物理、數學等凡て機械工に必要なる學科を平易懇篤に講述し職工徒弟の獨習に最も適切なり

建築講義 壹年卒業
日本家屋構造、西洋家屋構造、鐵筋コンクリート、社寺建築其他大工建築家に必要の學科を平易に講述せり 沿革、規矩法、建築材料、建築製圖、材料及構造强弱

電氣工學講義 壹年卒業
電氣機械工學、水力發電所及變電所の設計、火力發電所、電力輸送及配電、電氣及磁氣測定電氣鐵道其他遞信省主任技術者必要の試驗科目を網羅し說明平易にして自修に便也

應用化學講義 壹年半卒業
有機無機、分析化學、電氣化學、化學工業、工業常識、化學工業機械、物理、數學其他時勢の要求に應じたる須要の科目を懇切に講述す化學工場從業者の良參考書也

見本呈進 大日本工業學會

洗濯石鹼角形專門
角形石鹼 元祖 浦本石鹼工場
京城南米倉町二八四番地 電話二二九四番 振替京城三一三九番

古今怪談そろひ 娛樂世界十月增大

此の物凄い目次を見よ!!全誌怪談で塡る!!

木曾の旅人 / 死人の悲鳴 / 茂右衛門怨靈 / 若草伊之助 / 一ッ目小僧 / 臺の怪談 / 岩の髮梳き / 猫退治 / 開けの御殿 / 小猿七之助 / 幽靈の怪談 / 牢屋の聟 / 海底の怪談 / 和尚次郎 / 八百八狸 / 峰殺し

怪談入道雲 / 幽靈の兒 / 因果燈籠 / 銚子の白猫 / 信女が一念 / 隣の家の化け猫 / 若夫婦が怨靈 / 小更の怪し火 / 溫泉の怪異 / 首無の地藏 / 夏の夜の廓 / 不思議な話 / 光りの底 / 烏森の延吉殺 / 大作立退

本誌定價四十五錢 送料二錢
東京日本橋スキヤ町 娛樂世界社 振替東京三三八四四番

朝鮮法制研究會

縮刷 朝鮮法規提要 再版

▲ポケツト形一千餘頁 ▲總クロース函入美本 ▲定價一圓二十錢 ▲特價一圓 送料八錢

內容 憲法、法例、官制、貸借、恩給、文書、印鑑、地方行政、社寺、宗教、兵事、教育、衛生、警察、財務、土地、林野、河川、法務、產業、交通、電氣[illegible]

賣捌所 京城日報社代理部 京城太平通 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇

婦人世界

米價騰貴に處する道 / 中流婦人の不平 / 日本大出兵國と主婦 / 眼病新治療實例 點墨術 / 小杉天外 靈鐘 奔馬の卷(下) / 子供を幼稚園に入れ / 子供に善い運動 / 貧血婦人の養生法 / 四百圓の嫁入支度 / 十月の家事整理 / 犧牲に斃れた小女 / [illegible]

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目(商品陳列館前)
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 得業士 瀨々鍈郎

大正七年九月二十三日 (月曜日) 京城日報 (明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) 第三千九百五十二號 (七)

◎今回の動員は廣き地域よりせり
然かも出動兵力は世人の想像する程多數に非らず

此頃の戰爭は實に面白いものだ騎兵が軍艦を鹵獲したり裝甲列車が一隊の眞中に跳り込んだり實にさうも面白いものだ然し今回の米價及び諸物價騰貴も軍隊出動の爲めだと思つてる者もあるらしい或ひは各地に亘つて動員をした爲めに大兵力を出動したかの樣にも思つてゐるらしい尤も

◆各新聞紙 上に於ける掲載を禁止した爲めに一切の事情を解せぬ爲めでもあらうが是に就て世人をして誤解のない樣に一言呈して置き度い、浦鹽附近のチェック軍は七月上旬に過激派を制壓し續いてニコリスク附近に前進したのであるが敵は逐次北方から增援を得た爲に却つて攻勢に轉ぜんとしたのであるそこで帝國は速かに之を

◆救助する の必要を認めたので遂に八月の上旬に第十二師團を動員し直ちに同方面に派遣したのである、後貝加爾の獨墺俘虜軍及び過激派軍はセミョノフ枝隊を支那國境內に擊退して七月の下旬に滿洲里に迫つたのである、セミョノフ軍を唯一の楯として賴つてゐた二百五十餘名の我國民も拉爾に避難したのである、そこで遂に於て大いに狼狽しながらも滿家財産は殘らず過激派軍の掠奪に任ずるの已むなきに至つたのである、同地には支那の軍隊も在つたのではあるが、其兵力が微弱であつて

◆過激派軍 の其横暴を制する事も出來ないといふ狀態で其險惡は日に〳〵加はつてゆくのであるそこで日支軍事協定に基いて支那と商定の上該方面に派兵する事とし了八月九日に我滿洲駐屯軍たる第七師團に應急準備を命じ其一部を同方面に派遣したのである、敵は主力をチタ附近に置いて黑龍鐵道沿線及び沿海州に在る友軍を締結し鐵道と水運の便に依て兵力を自由に轉移して彼我應援に便したのである、故に一方沿海州方面から

◆敵を驅逐 すると同時に一方速かにチタ附近の交通要點を占領して先づ黑龍州及び沿海州に在る敵軍の背後連絡線を遮斷したる後に於て之を討滅の步を進むるのでなければチェック軍救援の目的を達する事が出來ない、然るに前述の第七師團の一部は臣民保護を目的として應急派遣したる平時編成部隊である爲めに長距離の活動には堪へないのである、さうすればチェック軍を支援して西進するに適せないのである、茲に於て八月の下旬に此目的に充つるが爲め第三師團を動員したのである、以上に依つて見れば

◆帝國軍人 の動員して居るのは第十二師團と第三師團の二個師團であつて此兩師團を互に分離した廣大なる地域に於て充分なる活動をなさしむるが爲には大小特種他兵部隊、航空隊、有線無線電信隊、鐵道隊、架橋縱列隊の增加部隊を要し且つ各々其後方に相當の兵站設備を必要とする爲に各其部隊の動員をしたのである、是も一地方のみより出動せしむると人馬が一地方に偏局するので是等を避くる爲めに先づ九州と十二師團中部の名古屋と三師團を此間の廣島より野砲の四大隊を姫路よりは

◆特種部隊 を東北よりは山砲の一大隊といふ樣に日本全國に亘つて平等に出動せしめたのである、そこで兵數は以上の如くで決して多數ではない從つて諸物價に些程影響のあるべき筈がないのである目下の處薪炭も逐次高價となりつゝあるが是れも決して出兵の爲めではない薪炭に就ては彼の地に薪炭採集部を設置して彼の地に於て製造せしむるのである或は日本內地に逆輸入が出來るかも知れない、兎に角以上の樣な狀況であるが是れを誤解してゐる者もあるであらう之に依て自から明瞭となるであらう(東京支局)

◎釜山に卅餘萬圓
軍隊輸送で落ちた金高

今回の出征軍人通過に際しては釜山市民は熱誠に歡送したがそれと同時に軍隊輸送でいろ〳〵の利益も蒙つてゐる本月〇日から去る〇〇日迄の十日間を通じて釜山市民の手に落ちた金を

▲ザツと調べて見ると 三十萬圓を遙に越て居る勘定

十日間に滯在通過した數は〇〇〇〇人であつて一日二日半の宿泊となつて居る此金額が九萬二千五百圓である小使は多きは二百圓少きは一圓五十錢や二圓は間違ひない處之れも極少く見積つて四圓平均として十四萬八千圓、人夫賃は一日一人二圓平均で一日千人を使用して居るから二萬圓

▲ランチ其他艀船の 徵發下賜金が三萬圓餘驛構其他の材料がザツト一萬圓之れを合計した丈けで三十萬五百圓である處で此の外軍隊輸送に依て列車時間の變更となり關釜間の乘客が滯在休憩する費用が少くとも二三萬圓は外れなしだから要するに吾が釜山港でも國民の義を盡し得た上に利益問題は別として單に落ちた金丈けを計上して見ると三十二三萬圓は確なものである(釜山)

◎徹頭徹尾コキ下さる
簡閱點呼執行官の氣骨の折れる事
◆執行官の業を煮やす奇答愚解

京城に於ける簡閱點呼は既報の如く臨時土地調査局構內に於て施行中であるが何分初めての事とて執行上の成績は大いに注目されてるが

▲二十日以來連日 七八名の遲參者令狀送達不能者三四名不參者數名に達する始末だから執行官の氣骨の折れる事閱始定刻八時から構內に豫備後備補充と各區別して整列させ一々點呼するのであるが言語明晰を缺いてコキ下され動作不活潑で『元へ』を繰返へさゝれ青瓢簞のやうな顔をした參會者は

▲『もつと元氣を 發』と小言を喰ふものなど多かつた點呼が終ると一室に集められて演習簡閱應召上の質問をされ十分間許り休憩の後這度は階上の第二整列室に入つて執行官の勅語の捧讀があり最後に勅諭の御趣旨在郷軍人會及び點呼の目的、砲、工、步、其他各兵種に就いて鐵條網の張方から

▲馱馬の扱方なんど に就いて聞かれ鐵砲を打出す樣に質問の連發をするので應召者の多くは面喰ひ、ドキマギして奇答愚解で執行官の業を倍々煮やさせる樣な具合で簡閱點呼は徹頭徹尾コキ下して正午終了したが應召者中特に既教育兵は執行官の注意を待つまでもなく軍事上の智識などは

▲復習して置いて 質問に明答し在鄕軍人會に下し賜つた勅語の御趣旨等は誰一人會得して居ないもの・ない樣心得て居らねばならぬと某當局は語つてゐた

◎齋藤坂西兩將軍側杖を喰んとす
北京に入り込んだ一大規模なる暗殺團

最近南方より派遣せる大規模の暗殺團は京津間に入り込み北京にては數日前北京前門外某妓館にて四名、煤市街にて二名無量大人胡同にて一名、第一舞臺にて一名、天津にて四名、都合十二名捕縛されたるが同暗殺團は段祺瑞及び徐樹錚以下段派の有力者を暗殺するがその主目的なるが如く過ぐる八日齋藤中將、坂西少將は徐樹錚の招宴に臨み散會後徐と自動車に同乘し前門外の第一舞臺に觀劇に赴きたるに暗殺團の一名は徐を第一舞臺に追跡し爆彈を投擲の際を狙ひしが密偵は之を看破し劇場より出でんとする所を捕縛せり同人は五百瓦の爆彈を持居たる由にて徐を暗殺せん目的なることを自狀せり當時若し同人が徐暗殺を決行したらんには徐と同車同席せし齋藤中將等は意外の災厄に遇ひたらんと

◎無著陸
にて所澤より高師ヶ原へ

十月一日より八日間の豫定にて豐橋市の高師ヶ原にて擧行さるゝ陸軍陣地攻防演習は最近の新鋭武器を悉く網羅せる最も大規模のものなるは既記の如くにして之に活躍すべき飛行隊は所澤

◆航空隊に て編成中なりしが愈佐藤大尉の隊長たる航空隊二大隊の大半を以て組織し飛行機はモ式百馬力二臺にして操縱者は難波、吉本兩少尉、土居、中根兩軍曹並に最近原隊より召集されたる第一大隊本部附の將校二三名にして二臺の飛行機は廿八日早朝所澤を發し途中

◆無著陸に て一氣に豐橋に向ふ筈而して飛行隊の主要任務は今次演習の主要戰たる野戰陣地の攻擊に於ける各種砲彈の誘導にあり尙ほ橫須賀重砲兵射擊學校の中島少佐以下四十名の將卒は去る五月より十五日迄所澤航空隊と共同して地中に埋沒せる爆藥を爆發し透視觀測の豫習を行ひたるが

◆演習には 實彈を以て射擊する計畫なれば實戰同樣にして夜間は光明彈を投下して其任務を遂行すべく各種火砲等總て之が空中より指導するは飛行隊空前の試みなり

◎支那工夫五百同盟罷業

兼二浦三菱製鐵所鐵山の支那人工夫五百名は賃錢値上げを要求し二十二日同盟罷業を爲したるより兼二浦駐在所高等係部長は午後一時從業員數名を從へ鐵山驛に出張目下之が鎮撫に努めつゝあり(兼二浦電)

◎上納師歸る
鐵窓より免れて

本派本願寺布教師石川縣人上納成泉師は去る四月ボルヂヤ驛附近に於て獨墺俘虜の爲めに軍事探偵の嫌疑にて約三月間イルクーツク監獄の鐵窓に呻吟し居たりしが最近チェック軍に依りて解放され二十日敦賀着郵船にて歸還せり(敦賀電報)

◎火を出して燒死

二十日朝大阪難波元町五丁目表具商吉延庄次郎方より出火し同家內三名燒死せり(大阪特電)

◎鳥取師範盟休

鳥取縣師範學校生徒は教員の私宅掃除を強制にて爲さしめたりとて同盟休校を爲せり右に關し該校長は斯かる命令を發して強制したる事無し合意的に爲さしめたるなりと云ひ居れり(鳥取電報延着)

◎ク夫人來る

過激派軍委員長兼東部過激派軍總司令官クラスノスチエコフ氏夫人は二十日敦賀に到着せるが夫人は米國に赴く由(敦賀)

◎西伯利の大平原を死の背景にして華々しい討死
するこそ意義ある事でせうと
女學生の慰問狀と勇士の返事

西伯利の野に戰ふ可く北滿洲へ向け征途に上る勇士を慰めんため京城女子技藝學校では純な乙女の心よりなる繪葉書の慰問狀を發して居る故國を發して敵地に入る勇士の腕はこの可憐なる慰問に依て徐々振はれる事はその返事に見ても居る今一二を紹介して見れば

慰問狀 補習科生徒

異郷の地にはるばると國のため私共のために御遠征遊ばすと伺ふだけでも早や感謝の涙が湧きますあらゆる人生の執着から離れ御大なお命差しお捧げ下さる心ほんとに美しい貴い犠牲の尊い神に酬ふ樣の働きはむつかしい事と致しましても私は思ふ存分努力しませう『生中の死』のやうな侘い一生を盛の上で終るよりかシベリヤの平原を死の背景にして花々しく討死するのこそ意義があるやうに感じも致しますが、あゝ併し見知らぬ國へ來ての戰、思ふ丈けでも痛ましいと、思ふ涙は熱しても感謝の淚を流します而も家々ない大野に身を臥いて落陽を仰ぐ時の感じ、或は虫聲しきりなる夜更の野營に花手向けまつる時の感慨は如何でせう、まや子供を健氣にもお送り下さつた出征軍人の家族の方々、私共其方を分けてもお國を云ひ、そうして慰さめて上げませう、列車を裝いて節約した金は慰問袋の心なごめし品物にしてお送せ致しませう、あゝほんとにどんなにかおつらい事もお有りでせう、でも濟みませんが我慢して、時に捐兵を邪なご召さぬやう哭さも御大切に遊ばして下さいませ私は一日も早く凱旋の日を

そして私共がそれをお迎へ申し上げる日の遠かならぬ事を希念して居ります、汽車が搖ぎ出して醜を振りの萬歳を呼ぶ時ほんとに軍隊女子の誇りと有難涙にて夢中ですが汽車が醜を姿する時私共は其內部にあて〳〵泣かぬ者とてはありません……(後略)

同 本科一年女

嬉しい〳〵本の兵隊さん、いよ〳〵母なる後に辭ひ西伯利に出征の事を心から感謝致します、どうぞ、カイセルの首を叩ひきりたいやつて下さいませ後から慰問袋もどつさりお送り致しませう

返事 軍曹 加藤□太郎

御懇篤以ての御慰問狀正に拜誦仕り候、お言葉の如く滿洲の野に獨逸兵が如何にくも共我大和魂を以て擊破し在鄉小國人の名を發揮し勇ましく凱旋致すべく、其節は又萬々御禮申上ぐべく候

同 關岡房次郎

お心からの御送迎に深く〳〵感謝致します、お國に從ひ何なる惡魔も苦戰も何のその聯隊旗の進む所是れ屍の捨て處をとして力盡都國致すべき考へで御座います、尙命あるうちに慰問袋を頂きます、さやうなら

◎後貝加爾州方面へ從軍記者派遣

本社は曩に第十二師團派遣に就き直ちに金谷記者を派して從軍せしめ同方面の興味ある戰報其他の報道は朝夕十萬の讀者の眼前に披露されつゝあるが戰局の擴大に伴ない今回更に後貝加爾方面へ

囑託 早川己之利氏

を第三師團司令部附として從軍の件其筋の許可を得たれば旅裝整ひ次第不日出征の途に上るべく今後愈佳境に入る可き同方面の我軍及び友軍の活躍進止の狀況、經濟事情、社會情態等の詳細敏速なる報道は黑龍州方面の金谷記者所報と兩々相俟ちて本紙上に光彩を放ち讀者の推賞を得る所となるべし

◎支那人の家倒る

二十一日午後九時四十分頃京城南大門通二丁目廿四番地支那人洗濯業同來盛號方にては俄然住家倒壞せしも幸ひに人畜には異狀なかりし

◎過失を苦にして

〇〇隊部〇聯隊第九中隊一等卒某出身高□(二三)は十八日午後七時宿舍より砂出場に往く途中より行方不明となり目下搜査中なり多分過失を苦にして逃走せしならんと(清津特電)

◎間島邦人の猩紅熱

間島地方には昨今猩紅熱の流行殊に邦人に甚しく或る家には一家五人の患者あり之の外鮮人支那人間にも發生せるが如きも彼等は之れを秘するが故に知られざる所の邦人は頭角四面に攤生なる支那人の間に雜居するを以て大に衛生に注意し居れり(間島)

◎孤兒院哀話(二)
官廳を騙つて養育料で生活する鮮人

世の中に孤兒院と云ふ言葉ほど人の哀れをそゝる言葉はあるまい、その哀れな兒を收容する孤兒院と云へば淚にぬれた兒らも痛ましい一群を描いて思ひ出す、內地あたりでは一寸見られぬ出來事がある、いや人の情を知る者であつたら鬼か蛇かのやうなこんな事はさでも出來得る事ではない、それは

▽薄ら寒い風 の日であつた、新橋洞の柳の下を三つか四つ位の赤ん坊を抱いた卅五六前後の一人の鮮人が養育部の門の中をのぞき込んでゐた、何か物案じ顔なその男はやがて心をきめたらしく事務所に須藤部長を訪ねての話は斯うであつた、此兒は私の知人の兒だが父は先年作年に出稼に行つたきり一度のたよりもしない、お神さんははか弱い女手にこの幼兒を抱いて今日まで喰うや食はずの苦勞をしたが先日とうとう

▽病氣の爲め に亡くなつて仕舞つた、近所の事ではあり私とても今日までお世話もして來たが、私とて今日まで世話をしてやつて貰へませんか、ここでこの兒の世話までは仕兼ねるので、何卒貴方の方に引取つて世話をしてやつて貰へませんか、ご鼻汁と淚を一緒に流しながらのお願ひであつた、成る程聞いて見れば實に氣の毒な子供である、斯う見上げた親切な人が居るものかと

▽部長は感心 して引取る事を承諾した、しかし何にもまだ乳ばなれもせぬ赤ん坊の事であるから何處か好い乳親があつたら賴ければ、親切ついでに何か心當りがあつたら見付けて呉れないかと云ふ件の男に依賴した、男は承知しました見付けませうと、あたふたとして歸つて行つた、二三時間立つとさつきの男は

▽一人の婦人 を連れて來た、身體を檢査して見ると顏色も好い、乳も澤山にある、そこで早速、養育部では里子としてその女に規定の養育料を拂つて預ける事にした、その後不思議な事には毎月養育料を受け取りに來る時、かならず件の男は乳母と一緒に出かけて來る。

諸名文 選者(一等に付十錢)

▲物は付『心苦しい物は』

◎考へられそうで考へられぬ物 (一等) 水原驛前通 杉本俊一

▲口で折鞄目に淚 京城 游水

▲病床 見る父の野良姿 水原 六白坊

▲初めて人を驅たあと 笠川 浪月生

不思議に効く 乳の出藥

赤兒を育てるには母の乳に限る

時は今!!

乳出乳の母の良藥 服用期

■ハガキ一枚にて養生法無代進呈

母 として可愛い幼兒を育てるに自分の乳が出ないほど悲しい事がありませうか、牛乳やミルクで育てるには莫大な金錢や非常な手數が要りタトイ是等を代用することしても兒分は、腐敗し易く、寒い時の加減は思ひもよらぬ難儀にて又腸や胃にも色々な故障を起す危險があつて赤兒は十分發育が出來ぬ許りか、日に日に衰弱る一方です

■高いお金で反つて赤兒を弱くする

何故ミルクの毒ではありませんか、それ故赤兒を育てるには、如何しても(達者な母親の乳に限る)と專門の大家が口を揃へて唱へてをります。

廣い世間で產後乳が思ふ樣に出ず常に絶えず不足勝で隣近所で貰ひ乳をしたり牛乳やミルクを代用して人知れず泣き暮して居る方は定めし多いでせう

■この不幸な人々を救ひたい一念から

多年苦心を重ねた結果今度初めて不思議によく出る妙藥乳の母を發見しました、不思議な效き方は一週間も服用すれば牛乳ミルクも忽ち不用と成る程な此の(乳の母)は乳出るだけに止らず母親の身體をも強壯にする他の藥の到底及ばざる未曾有の發見藥で有る、殊に

■乳の母の實驗者は百人が百人共出乳し

本舖に寄せられたる禮狀を机上に山をなして居る者は急げです幼兒のために難儀をしてゐる方は一日も早く左記へ新聞名記入(ハガキ)申込になれば誰れにも解る委しい說明書を直接御送り申します

東京下谷西町二井上郵社側 大阪市東區東雲町谷留所前 乳の母發行所 いづみや藥房

一番ッキク かぜねつ藥 蛇印 アンチピリン丸

▲特長 ◎最新高貴藥の配伍 ◎絕對に副作用なし ◎胃中に溶解し易し

▲主效 ■感冒、ネツ ■インフルエンザ ■頭痛、麻疹 ■リウマチス、オコリ

▲藥價 十錢、十五錢 廿五錢、五十錢

本舖 大阪 東京 丹平商會 賣捌は全國各藥店

梅毒腫物下疳、横痃、切疵痔疾、擦靴傷等の良藥は 三十六膏

定價 五錢、拾錢、三拾錢

本舖 大阪東區難波橋通り 中井馬鑑製 御求めの節は馬の商標に御注意を乞ふ

模範牛乳 李王職御用

ニウソ 石鹸洗粉

場主 獸醫 肥塚正太

京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話二五一番

りん病

淋病消渴で困る方切手三錢送れ 多年の經驗を自宅で秘密に治す妙藥を無代で教ゆ かじや町 武藤亀吉

京日案內

◎乳兒 預くお預けしたし、牛乳哺育にても宜し 本社內 松尾

◎人を求む

砂金、金高價買入れ 京城旭町一の七 中村分拆所

魔法瓶及び中瓶取替 京城本町二丁目 電話二三四番 高木旅行用具店

恩給 年金 低利長期間 江州屋本店

りん病 ばい毒 請合藥 京城南大門外 ドラッグ商會 ▲にせ物あり御注意▼

梅毒 そう毒 しつけ一切の第一 百毒下 治疾丸 下瘡便通の良劑 本舖 加藤翠松堂

京城本町 大阪屋號

◆書翰文模範文例

最新刊 ◎職員錄 朝鮮の冬と防寒法 朝鮮語の王子

鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 新田帶革總代理店 白神洋行 ペイント、油類一切 コークス、セメント、モルタル 耐火煉瓦、スコップ、シャベル 伊革、ロープ、機械、工具 附屬品

妻の心 百一

十六の三　小林蹴月作　武内桂舟畫

暴風雨に揉み出されて生れ落ちた此の子！此の子と暴風雨とは、何等かの因果が纏はつて居るらしく久三郎は感じたのである。そして、その因果の袋はりの中から押し出されて來た此の子の運命も恐らく暴風雨のそれと同じやうなものではあるまいかと思つた。彼は、何處ともなしに一種の怯みと懼れとの心を以て、嬰兒の産聲に耳を傾けたのである。

夜は全く明け離れた。夜來の暴風雨も、もう大抵は吹き飽きたと見えて、疲れたやうに息をつきながら間を隔くやうになつて來た。醫師も來た。産婆も來た。嬰兒は時を切つて盛んに泣き立つたが、その泣き聲に依て察すると、可なり

健全な元氣好さうな模樣であつた。

『まあ、思つたよりは御安産でお目出度う御座いました。』と、産婆は、一通り産婦や嬰兒の仕末を了つてから、久三郎に向つて祝ひの辭を述べたのである。

けれども、久三郎は、自分自身には餘り目出度い出來事であるとは思つて居らない。のみならず、自ら進んで、嬰兒の顔を見て見たいやうな氣が爲ないのであつた。

『はア、難有う。いろ〳〵お世話でした。』と、口には云つたやうなもの〻、生れた後へ驅付けて來る産婆などは、泥棒の逃げた後へ繩を持つて來たと同一であると、腹では寧ろ可笑くも思つた。

産婦はと聞けば、丁度今産後のお疲れですや〳〵とお寢みの所ですとの事。久三郎は、此の間に寧そ什麼を整へて逃げ歸らうかとさへ思つた位である。それは、必ずしもお芳に對して、薄情を見せ付ける譯ではないが、只何となく嬰兒の顔を見るのが、無氣味なやうな一種の不快さが打勝て居るのと、お芳が蟲の被つた苦痛との餘りに我を忘れて口走つた譫言の節々が、怎麼にも下品で露骨で、そして加之に無作法に感じられたので、事に依ると、此の女は表面忠實を裝つて居るほどそれほど自分に忠實の女ではないかのやうに思へたからの事であつた。

久三郎は、何とか口實を設けて逃げ出さうか知ら出すまいか知ら……と、幾度か獨りで思案の抽斗を抜きさしては、左つ右つして居るのであつたが、倍、此家を逃げ出した所で、それから先の行方はと云ふと、別段まだ何處と定つた所はないのだ。

駿河臺の本邸……順序としては駿河臺の本邸へ歸るべきであるが、其處には旣に駒子の居ない事は分つて居る。陰氣な褸子に突つ慳貪な喜久子、口を利く段は俗措き顔を見るのさへ不愉快であるのに、苦情百出の中へ歸つて行くのは、薪を脊負つて火の中へ飛び込むやうなものである。久三郎は、又しても思案に困つた。

一體自分は前後不覺に醉つ拂つた揚句とは云ひながら、昨夜に限つて何でお芳の許へなんか轉け込んで來たのであらう？我身で我身の判斷に苦しんで居る處へ『御免』と大聲に門の戸を開いて、案内を請ふ一人の男があつた。

お君が忙しい中から、襷を取り〳〵取次に出て見ると、壯いハイカラの洋服姿でコスメチック匂ひが、お君の低い鼻にまで沁み渡るほどであつた。

『あの何方様で……。』

『僕は櫻井ですが、此方に町川さんが來てお在の筈ですから、一寸御面會が願たいもんです。』

『あッ、左様で御座いますか。では少時お待ちになつて。』と、お君は、その旨を久三郎に取次ぐ。

洋服姿で、櫻井と云へば、無論例の順吉郎に紛れはないが、どうせ碌な事ではあるまいと、辨持つ足の久三郎は、苦蟲を噛み〳〵自身に玄關先へ出て來た。

『やッ、櫻井君ですか。驅け追つて久しうお目に掛りませんでしたね。』

『いや、僕こそ大變御無沙汰を爲ましたが、今日は少しく雜用から役目を負はされて、柳橋の方面から段々に君の在所を探し〳〵漸うの事此家を嗅ぎ付けて、お尋ねした譯なんです。御免を蒙つても差支はないでせうかね。』と、順吉郎は、旣や編み上の靴を脱ぎ始める。

『ちよッとまア櫻井君、致てお上り下さるなと云ふ次第ではないが實は少しく混雜事がありますんで至急なお話ならば、何處かその邊を御一緒に散歩でも爲ながら承はりたいですね。』

久三郎が斯う云つて、順吉郎の上り込まうと爲るのを拒絶する途端、奥の産所では、生憎と嬰兒が一倍高い聲を張上げて、おぎやア〳〵と泣き出す。聞き付けた櫻井は、おやッとばかり顔の眞中を三角に皺めた。

平壤牛肉同盟の精肉販賣所は京城旭町一電話一五一九番 深堀屋本店へ

牛乳 病弱者ノ滋養ニテル御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

子規忌俳三昧第七夜

―日池老延引乍ら發表さる―

曼珠沙華　紫　浮碧樓

○

描き給を描ては曼珠沙華に遊ばるる

釣り落したる狐に似たる釣らるる　芹郎

○

暮の曼珠沙華なぎたし見向くまいとして

少年病み曼珠沙華のにほひを知つてる　清耳樓

○

狐釣り馴れしはいかさまな話をぞ

こころ滿ちなれば曼珠沙華何本つかみ

狐釣れざるは苦しく綠路をよぎり　鳥堂

○

曼珠沙華の塊は曼珠沙華にすてる

狐一人につれ一人に船板が乾いて

此潮止の狐を釣らせぬものか

―九月二十日

新刊紹介（到着順）

▲木太刀 一六の九　二十一錢 東京牛込築地町一二〇社

▲朝鮮蠶業時報（一の二） 巻頭に八月中生糸相場表の寫眞外三種の蠶に關する寫眞を掲げ、總說と蠶種（宮原蠶業試驗所長）桑と赤松の自生する地方（中井博士）朝鮮の蠶業、十時技師 彈力より觀たる蠶繭の改良（荒木教授）朝鮮の蠶業と副生物の利用（更田教授）朝鮮繭と內地繭の比較（南山樓主人）世界絹物の沿革（内藤博士）外に雜錄等（十五錢 京城黄金町一の二一〇共社）

▲家庭料理講義錄（第の巻） 安價にして滋養に富む食物新井譜で出來る料理西洋料理、鷄卵の料理、初年の料理、支那料理、西洋一品料理、研究料理、日本料理、西洋菓子製法趣味多き家庭の物菜法 女優式日本食製法、栽培要訣等（四十錢、東京市本郷區元町一ノ三 東京割烹講習會）

▲養雞と園藝（九月號） 十五錢 兵庫縣武庫郡鳴尾養雞園發行社

▲謠の友（九月號） 十八錢 東京麹町區飯田町三ノ九 能樂通信社

▲ジャパンタイムス學生號 十四錢 東京日比谷公園南學生號出版所

▲大阪銀行通信錄（八月號） 三十錢 大阪北區中之島一ノ二九大阪銀行集會所

▲尙美堂時報（九月號） 大阪淀屋橋南詰 尙美堂實飾店

▲海友（第百號） 二十五錢 大連寺內通二大連海務協會

讀者の領分

▲軍司令部に御尋ね申す 私が西伯利に日本軍の通譯をしたいですけれども何處かへ志願を出すなら宜からうでしよう私は支那人です今京城に居ります日本語と朝鮮語と話します軍司令部か何うか示して下さいませんか九月廿日（支那人）▲某保險會社の一團は入手運動會を近々開催する由時節柄なら感心せず此事は政て感心せず斯る當事もあらば救濟金の寄附金も可なり又慰問金も最も可なり何にせよ人氣に頁の取るべき事にあらず些と熟考しては如何會社銀行大商店等之れ近年行事の處でも本年は見合すべく我々一同寄々相談中致て當事者に御注意す（南山一家主生）▲全く委つた債券屋の記事を拔見いたしましたが変も月賦債券の加入者ですが廢業した所名を列記していたゞけますまいか（花子）▲府の一員君に答ふ 洗劍亭附近風致破壞は小人等も至極遺憾に思ふしかしながら同地は私有地にして爆發物使用の許可は京城憲兵分隊の認許なれば年發念郡守に於て如何とも致し難し（高陽郡廳一員）▲或る館人は無免許にて常に鉄砲の彈品の行商を內職にし或る時は役所も憚からず如何樣物を持ち出して賣買を試み私利を營む無法漢ありとは沙汰の限りにあらずや直に解散をなし內部の醜を謀られんことを切望す（慨慨生）

日報俳壇

■酒幕吟社詠草（新秋）

青田

織場から唄が漂ふ青田かな　春草
裸火が颯と横ごる青田かな　同
棟上げす酒屋の庫や青田風　同
豐年旗に夕風募る青田かな　逸明
自動車の淡き埃や青田風　香仙
鷺飛ぶや青田に孫三の月　同
道普請の人夫憩ふ青田かな　同
シグナルの赤き灯影や青田風　同

夏の川

廻る石炭船や夏の川　春草
夏川や入陽に魚が跳ね居し　逸明
夏川の夜釣に入る鯛かな　香仙
野菜積みて上る小舟や夏の川　同
午後の陽に濯ぐ女や夏の川　同
夏川の面を飛ぶ小魚かな　同

浴衣

月婆婆と肌に纏き浴衣かな　春草
欄干に月浴て居る浴衣かな　同
糊せる浴衣に孕む暮風かな　逸明
燈に灯し唄へる妓の浴衣かな　不可人
糊硬き宿の浴衣や湖の風　香仙
隣の芝生にテニスして居る浴衣かな　同

■山城吟社詠草（公山）

土間廣く引越荷解く裸かな　女
御垂れて透ける深みや水馬　同
藍畑や乾は燒けて峰の空　同
土用浪見て靜さや山の家　同
ダリヤ咲く庭廣々と裸かな　土筆
亥雨歇んで濁る溜や水馬　同
新しき椅のペンキや藍畑　同
蛇籠編む土手の人數や水馬　鵜城
草露滴ぎて夕立遠く過ぎりけり　同
點々と雨が降り來ぬ水馬　空堂
夕雲に艀洗ふ人の裸かな　方外
土用浪の黑く吐きたる藻屑哉　未刀

◎電信大擴張

…電報の遞送は明治四十年の三…六年には一億三千六百五十九萬九…報の遲滯を見る亦全く已むを得ざ…擴張を施すべき案を樹て居れり又…は通信收入の增加見積は約倍加し見積り收…必要あ…

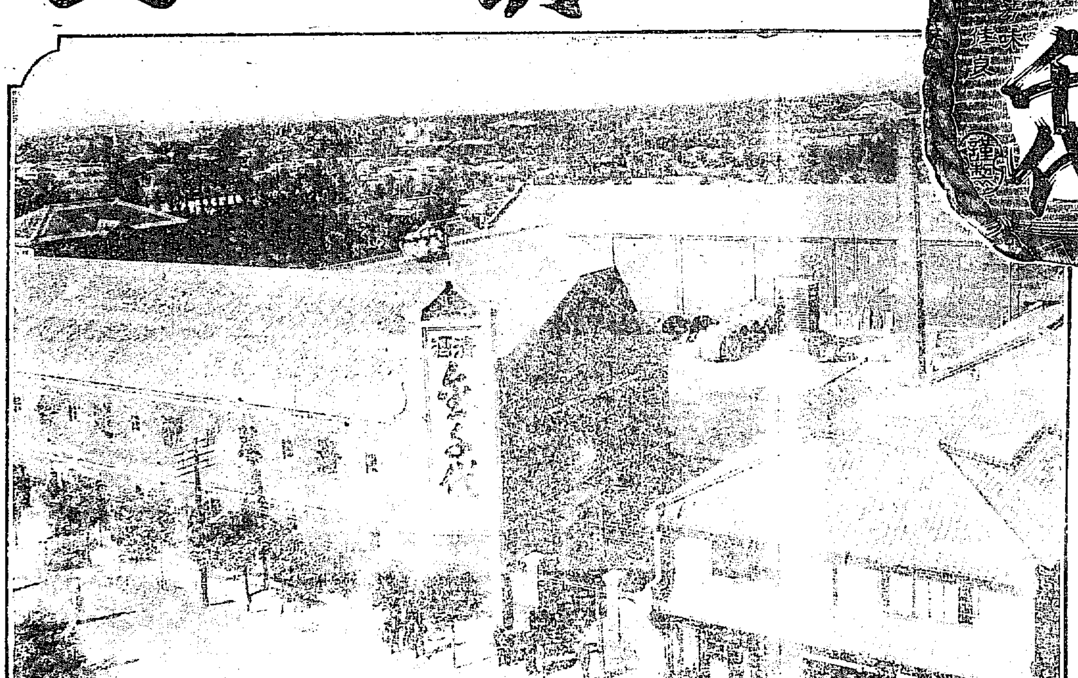
賣出

謹啓　時下秋涼の候に御座候處各位益御清祥の段奉慶賀候偖て弊社儀昨歲創立に續て清酒の初釀仕候處御蔭を以て極めて醇良品を製成仕今回廣く賣出致候間何卒速かに御試の上御高評を賜ひ永久の御愛顧御引立あらん事を偏に奉希上候　敬白

大正七年九月二十三日

平壤黄金町　釀造元　合名會社　齋藤酒造

追而左記特約店及到る處の酒商雜貨店等にて販賣致居候



▼理想的設備と精撰の原料と學理實驗の活用とは
▼初釀より此醇良なる銘酒を生む

●販賣店も―愛飲家も―早く試られよ

特約店

（次第不同）

平壤大和町 桑田支店 電話三六・八五一番
平壤本町 梶川支店 電話三三番
平壤大和町 江口支店 電話六二番
京城本町二 前田酒店 電話一三七番
京城本町二 藤田米三郎商店 電話三一九番
京城岡崎町 嶋屋販賣部 電話長九〇三番
仁川本町 井上藤吉商店 電話長八六番
仁川仲町 增本酒店 電話長一〇九番
大田本町 辻醬油店 電話長五八番
元山上里 中川酒店 電話一六二番
鎭南浦三和町 植田商店 電話一〇三番
安州城内 藤村恒三商店 電略（フ又はフシ）
新義州榮町 永井商店 電話四二番
新義州旭町 貝沼商店 電話四八番
安東縣大和橋通 村木洋行 電話六七番
奉天十間房第六區第四八號地 村木洋行支店 電話六四番

尼崎汽船部出帆（仁川）

下關、大阪行 神代丸 九月廿二日後四時出帆
群山木浦、下ノ關、大阪行 秀吉丸 九月廿三日後四時出帆
群山木浦下ノ關大阪行 君が代丸 九月二十五日後四時出帆
仁川海岸通二丁目（電話五九番） 高杉回漕店

大阪商船會社出帆

（仁川出帆）
神戶、大阪行（鎭南浦寄港） △日清丸 九月廿九日 正午出
群山大阪行 安東丸 九月廿二日 後四時出
木浦大阪行 ×信濃川丸 九月廿九日 正午出
（元山出帆）
清津行 ●安平丸 九月廿七日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 ●安平丸 十月三日 後九時出
（大連出帆）
上海、打狗行 ●湖北丸 十月十七日 前六時出
●基隆丸 九月廿八日 後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回　北米行 毎月　南米行 一年四回　孟買行 毎月　濠洲行 毎月一回　南洋行 毎月二回
御注意 ◎外國航路ノ旅客ハ…
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番

日本郵船出帆（仁川）

大連、天津牛莊行
相模丸 九月十二日正午
酒田丸 九月廿七日正午
高砂丸 …
仁川海岸通（電話十番） 郵船回漕部

朝鮮郵船出帆

●浦鹽行 大阪發 平安丸 十月二日 清津 十月四日 元山發
平壤丸 九月二十四日 釜山發 九月二十六日 元山發
×山陽丸 十月七日 釜山發 十月十日 元山發
●雄基行 雄基丸 九月廿七日 釜山發 十月一日 元山發
●元山雄基線 穩城丸 九月廿九日 元山發
●大阪行 越後丸 十月一日頃 元山發
●金剛山遊覽便 穩城丸 九月廿七日 元山發
●鬱陵島行 鏡德丸 九月廿四日 釜山發
●釜山浦項線 金海丸 浦陽丸 毎日 釜山浦項發
●濟州島行 東廻 公州丸 九月廿九日 西廻 公州丸 九月廿三日 木浦發
●濟州島行 昌平丸 九月廿六日 釜山發
●釜山麗水線 海州丸 巨濟丸 統營丸 毎日 釜山麗水發
●木浦麗水線 順天丸 月廿五日 木浦發
●多島海行 三浦丸 九月 日 木浦發
●木浦行 慶寶丸 九月三十日 仁川發
●海州行 錦江丸 南陽丸 毎日一回 仁川發
●鎭南浦行 江田島丸 九月 日 仁川發
●青島行 江原丸 九月廿六日 仁川發
朝鮮郵船株式會社 本社 京城南大門通 電話
釜山港佐藤町 釜山支店　元山港海岸通 元山出張所　仁川港代理店 堀回漕店　木浦港代理店 山野回漕店　京城各取扱店 京城南大門驛前 松原運送店
各其他港地に荷客取扱店あり

募集規定